
労働関係法制度の知識の理解状況に関する調査

報告書案

平成21年1月14日

株式会社 インテージ



目 次

I 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
(1) 調査手法	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査実施期間	2
(4) 回収状況	2
3. 調査項目	3
4. 調査実施主体	4
5. 調査実施機関	4
II 調査結果	5
◇ 労働関係法制度の理解度	5
1. 学生編	6
(1) 基本属性別分析	6
(2) 働き方の属性別分析	7
(3) 学習経験別分析	8
(4) 行動傾向別分析	10
2. 社会人編	13
(1) 基本属性別分析	13
(2) 働き方の属性別分析	14
(3) 経験・行動分析	19
3. 学生と社会人の比較編	22
(1) 用語認知状況	22
(2) 事例判断状況	23
(3) 職場での経験	24
(4) 対処行動の違い	25

参考 1 : 調査票 (学生編)

参考 2 : 調査票 (社会人編)

I 調査概要

1. 調査の目的

非正規労働者の趨勢的な増加や労働契約の個別化、就業形態の多様化等が進む中、労働関係法制度をめぐる知識、特に労働者の権利に関する知識が、十分に行き渡っていない状況が問題として指摘されている。

本調査研究は、学校教育や労使団体、地域の NPO、都道府県労働局、地方公共団体等が今後果たしていくべき役割等について総合的に検討するために、労働関係法制度の基礎的な知識の理解の状況に関する実態を把握することを目的に実施した。

2. 調査方法

(1) 調査手法

郵送調査法

(2) 調査対象

調査会社（株式会社インテージ）が保有する全国の郵送調査協力モニターを対象とした。本調査においては、学生時代における労働関係法制度についての知識状況の把握と、実際に社会人になってからの知識業況を把握する必要があることから、それぞれの層に対して以下の条件にあてはまるものを調査対象として抽出した。

抽出にあたっては、モニター登録属性情報を元に行い、調査票回収後、雇用身分等の条件が変更となっているサンプルを有効回収外とした。

【学生編】

15～24 歳の男女学生 400 サンプルを対象。回収率 75%、社会人等有効回収外の発生を想定し、540 サンプルに発送した。400 サンプルの内訳は以下の通り。

①高校生男女 各 100 サンプル

②大学生等男女 各 100 サンプル

※大学生等には、「専修学校」「短期大学・高等専門学校」「大学」「大学院」在籍者が含まれる。

【社会人編】

20～39歳男女労働者800サンプルを対象。回収率75%、非雇用者等有効回収外の発生を想定し、1080サンプルに発送した。800サンプルの内訳については、「平成19年就業構造基本調査（第2表）」より、該当年代における正規社員・非正規社員割合を再現するよう設計した。

<調査票配布設計>

		正規社員 (役員除く)	非正規社員	合計
男	20～24	64	42	106
	25～29	124	26	150
	30～34	161	19	180
	35～39	159	15	174
女	20～24	58	48	106
	25～29	74	47	121
	30～34	65	57	122
	35～39	56	65	121
		761	319	1,080

<調査票回収設計>

- ①正規社員 男性：377サンプル 女性：75サンプル
 ②非正規社員 男性：188サンプル 女性：160サンプル

(3) 調査実施期間

2008年10月30日（木）～11月10日（月）

※遅れ票最終到着締め切り12月1日（月）

(4) 回収状況**【学生編】**

回収数：481サンプル（回収率：89.1%）

有効回収数：474サンプル（有効回収率：87.8%）

【社会人編】

回収数：997サンプル（回収率：92.3%）

有効回収数：946サンプル（有効回収率：87.6%）

3. 調査項目

【学生編】

- ◇ 基本属性
 - (1) 性別・年齢
 - (2) 所属学校・学年
- ◇ 進路
 - (1) 卒業後の希望進路・就職活動状況
 - (2) 内定先企業規模・職種
 - (3) 20歳代後半から30歳頃の希望する働き方
- ◇ アルバイト
 - (1) 経験の有無
 - (2) 職種
 - (3) 1ヶ月の賃金・1週間の労働時間
- ◇ アルバイト先での経験
 - (1) 不当な扱いを受けた経験
 - (2) 対処行動・解決状況
 - (3) 対処行動をしなかった理由
- ◇ 労働関係法制度に関する知識
 - (1) 用語認知・学習経験
 - (2) 事例判断
 - (3) 進路に関する講座の受講経験
- ◇ その他
 - (1) 普段の行動
 - (2) コミュニケーション状況
 - (3) 15歳の頃の暮らし向き
 - (4) 中学3年生の頃の成績
 - (5) 在学していた高校の進学割合

【社会人編】

- ◇ 基本属性
 - (1) 性別・年齢
 - (2) 婚姻状況・6歳以下の子どもの有無
 - (3) 最終学歴
- ◇ 雇用状況
 - (1) 就業形態・勤続年数・転職経験の有無
 - (2) 業種・職種・企業規模
 - (3) 年収

- (4) 労働組合の有無・加入状況
- (5) 実労働時間・有給取得状況
- (6) 就業規則の有無・保管場所
- ◇ 勤務先での経験
 - (1) 不当な扱いを受けた経験
 - (2) 対処行動・解決状況
 - (3) 対処行動をしなかった理由
- ◇ 労働関係法制度に関する知識
 - (1) 用語認知
 - (2) 事例判断
- ◇ その他
 - (1) 15歳の頃の暮らし向き
 - (2) 中学3年生の頃の成績
 - (3) 労働条件低下や失業への不安感
 - (4) 勤務先状況変化の予想

4. 調査実施主体

厚生労働省

5. 調査実施機関

株式会社 インテージ

Ⅱ 調査結果

◇ 労働関係法制度の理解度

労働関係法制度に関する用語の認知状況と、各種事例に対する法違反認識についての解答状況から、労働関係法制度の理解度指標を作成した。

用語を認知しており、かつ事例について適切な解答を行った場合に1ポイント付与とし、7項目のポイント取得状況により3区分のレベル分けを行った。

《認知をたずねた用語と事例解答の組み合わせ》

(学生編；問9と問10、社会人編；問8と問9)

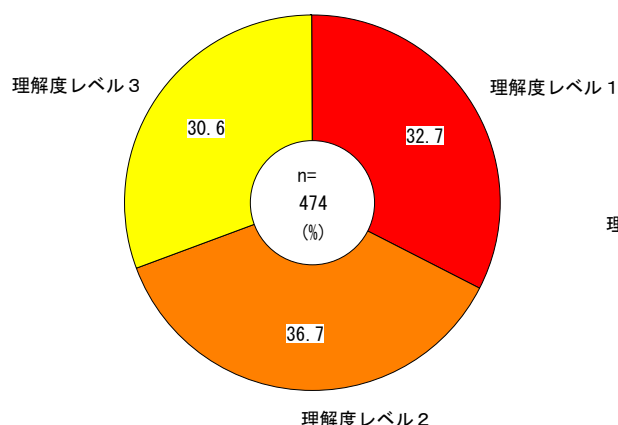
- 「団結権」認知&A事例「違反」
- 「最低賃金」認知&B事例「違反」
- 「残業割増」認知&C事例「違反」
- 「年次有給休暇（年休）認知&D事例「違反でない」
- 「育児休業」認知&E事例「違反」
- 「未払い賃金の請求権」認知&F事例「違反でない」
- 「男女雇用機会均等法」認知&G事例「違反」

「用語認知」かつ「事例正解」個数・・・0～2⇒理解度レベル1

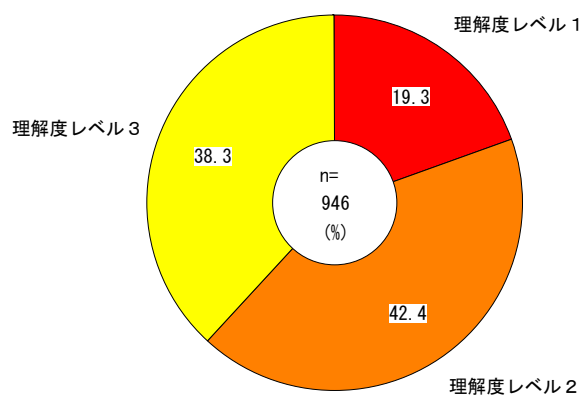
「用語認知」かつ「事例正解」個数・・・3～4⇒理解度レベル2

「用語認知」かつ「事例正解」個数・・・5～7⇒理解度レベル3

労働関係法制度の理解度【学生編】



労働関係法制度の理解度【社会人編】



本報告は、この「理解度」の違いがどこにあるのか、また理解度の違いがどのように行動の違いに影響しているのか分析を中心に行う。

1. 学生編

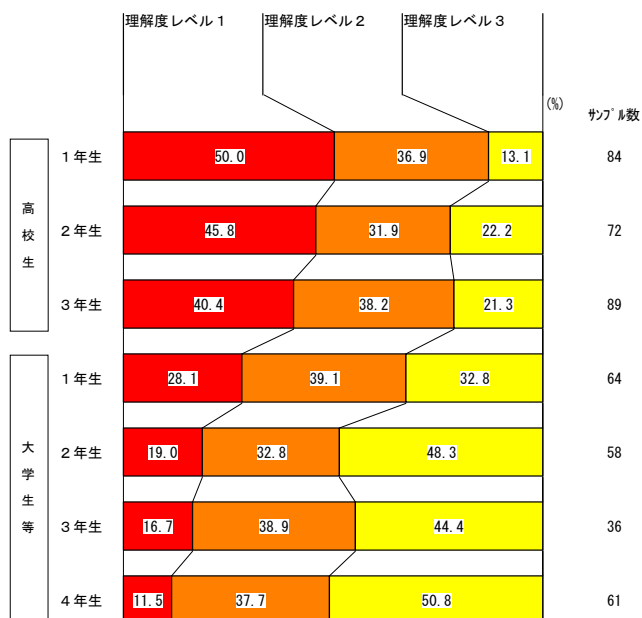
(1) 基本属性別分析

『高校生』に比べて『大学生等』は理解度の高い者が多い

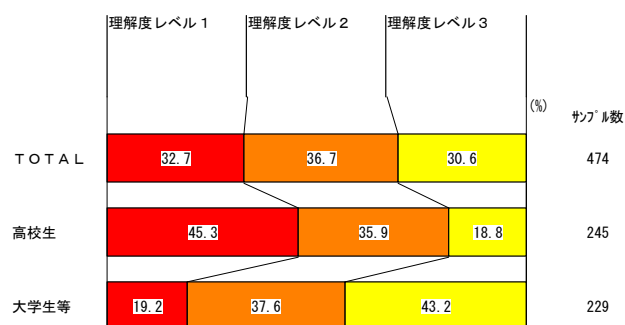
高校生の段階では「理解度レベル1」が全体の半数弱（45.3%）を占めているが、大学生等になると「理解度レベル1」は2割（19.2%）に留まり、4割（43.2%）は「理解度レベル3」に達している。

また、学年があがるにつれて「理解度レベル1」の割合が低くなる傾向が見られる。性別にみると、高校生においては『男性』に比べて『女性』で「理解度レベル1」の割合が高くなっている（52.9%）。

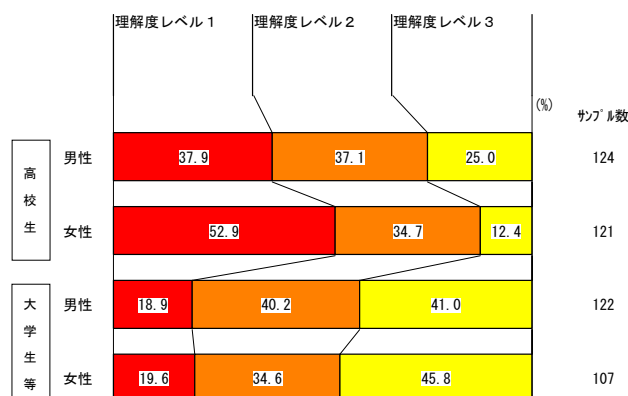
表頭：労働関係法制度の理解度【学生編】
表例：問4 学年



表頭：労働関係法制度の理解度【学生編】
表例：所属



表頭：労働関係法制度の理解度【学生編】
表例：問1 性別



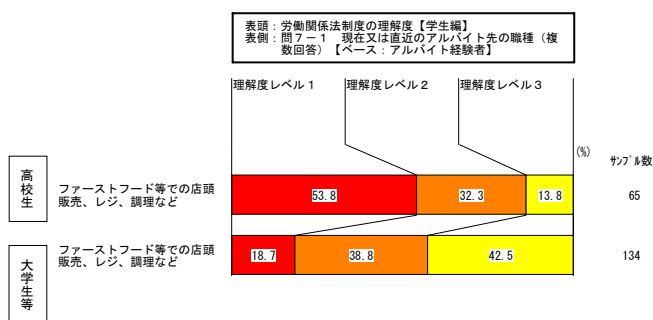
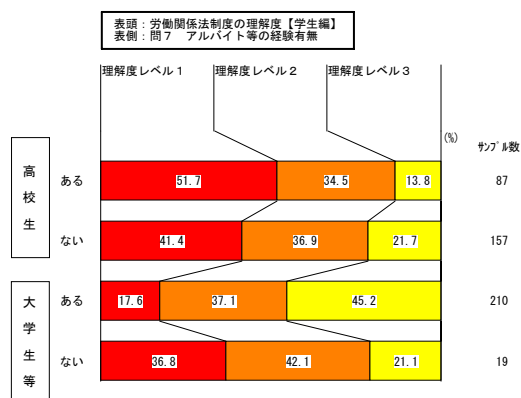
(2) 働き方の属性別分析

大学生等は、アルバイト経験の有無で理解度に違いあり

高校生では、アルバイト経験の有無による理解度レベルの違いは見られなかった。有意差は見られなかったものの、アルバイト経験が『ある』生徒のほうが理解度レベルの低い層の割合が高く（ある；51.7%、ない；41.4%）、アルバイト経験のあるほうが理解度が高まるとは言えない。

一方、大学生等においては、その多くは何らかのアルバイト経験を持っており、アルバイト経験のない学生に比べて経験のある学生では「理解度レベル3」の割合が高くなっている（ある；46.2%、ない；21.1%）。

また、アルバイト経験のある高校生の大半は『ファーストフード等での店頭販売、レジ、調理など』の職種についているが、同じ職種を経験している大学生等と比較して理解度レベルが低い層の割合が高く、アルバイト経験によって理解度が高まるとは考えにくい（高校生；13.8%、大学生等；42.5%）。

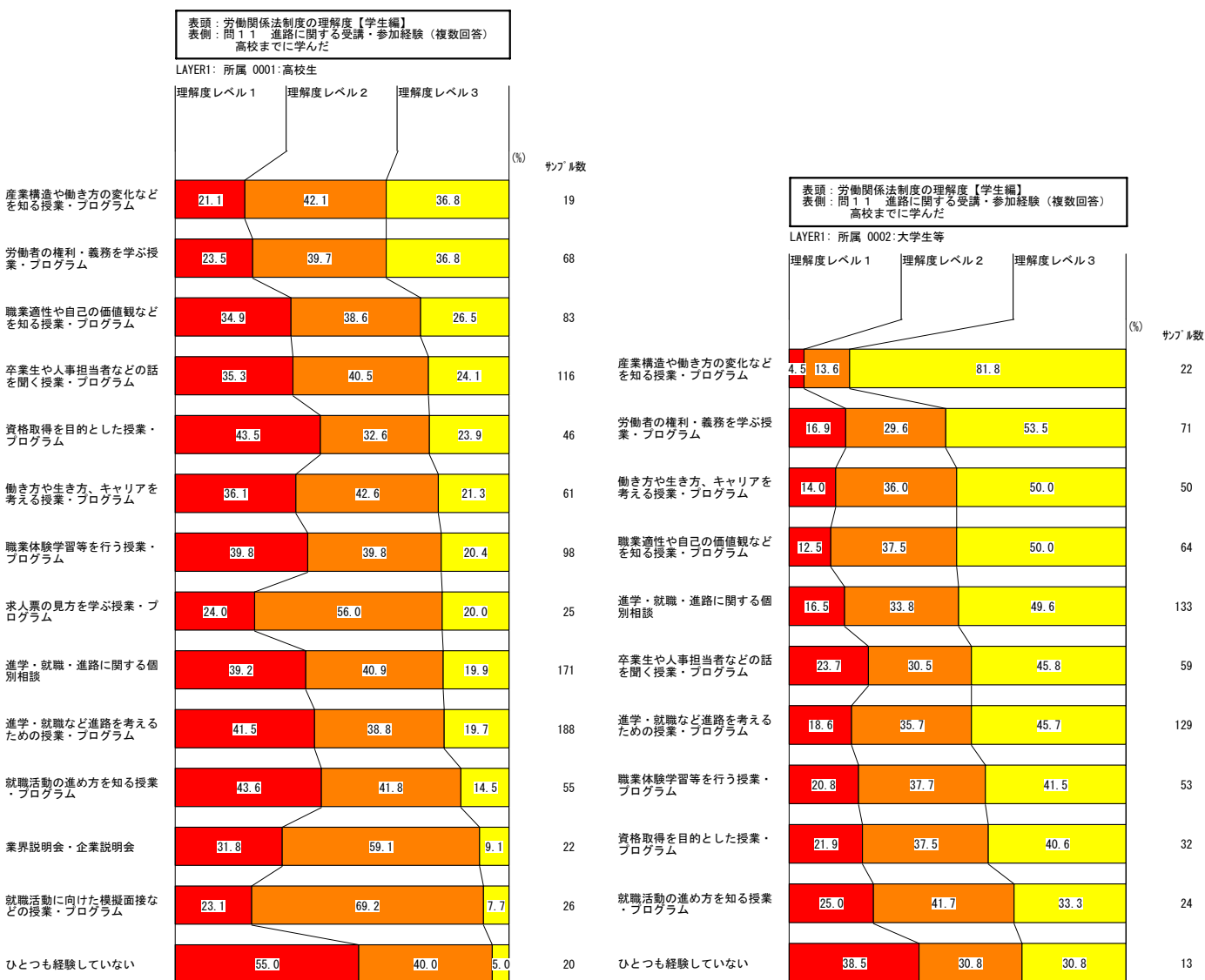


(3) 学習経験別分析

「産業構造や働き方の変化などを知る授業・プログラム」「労働者の権利・義務を学ぶ授業・プログラム」を受講した経験が、理解度を向上させる

高校までに学んだことのうち、「理解度レベル3」の割合が高くなっているプログラムは、高校生、大学生等ともに「産業構造や働き方の変化などを知る授業・プログラム（高校生；36.8%、大学生等；81.8%）」や「労働者の権利・義務を学ぶ授業・プログラム（高校生；36.8%、大学生等；53.5%）」となっており、これらを受講した経験が労働関係法の理解につながっていることがわかる。

また、大学等で学んだ経験の中では、「卒業生や人事担当者などの話を聞く授業・プログラム（53.3%）」や「職業体験学習等を行う授業・プログラム（52.8%）」「進学・就職・進路に関する個別相談（50.0%）」などの経験をもった学生の半数以上が「理解度レベル3」に達しており、効果を発揮していることがわかる。



※受講経験者数の少ないグラフは省略している。

表頭：労働関係法制度の理解度【学生編】
 表側：問11 進路に関する受講・参加経験（複数回答）
 短大・高専・専修・大学・大学院で学んだ

LAYER1: 所属 0002: 大学生等

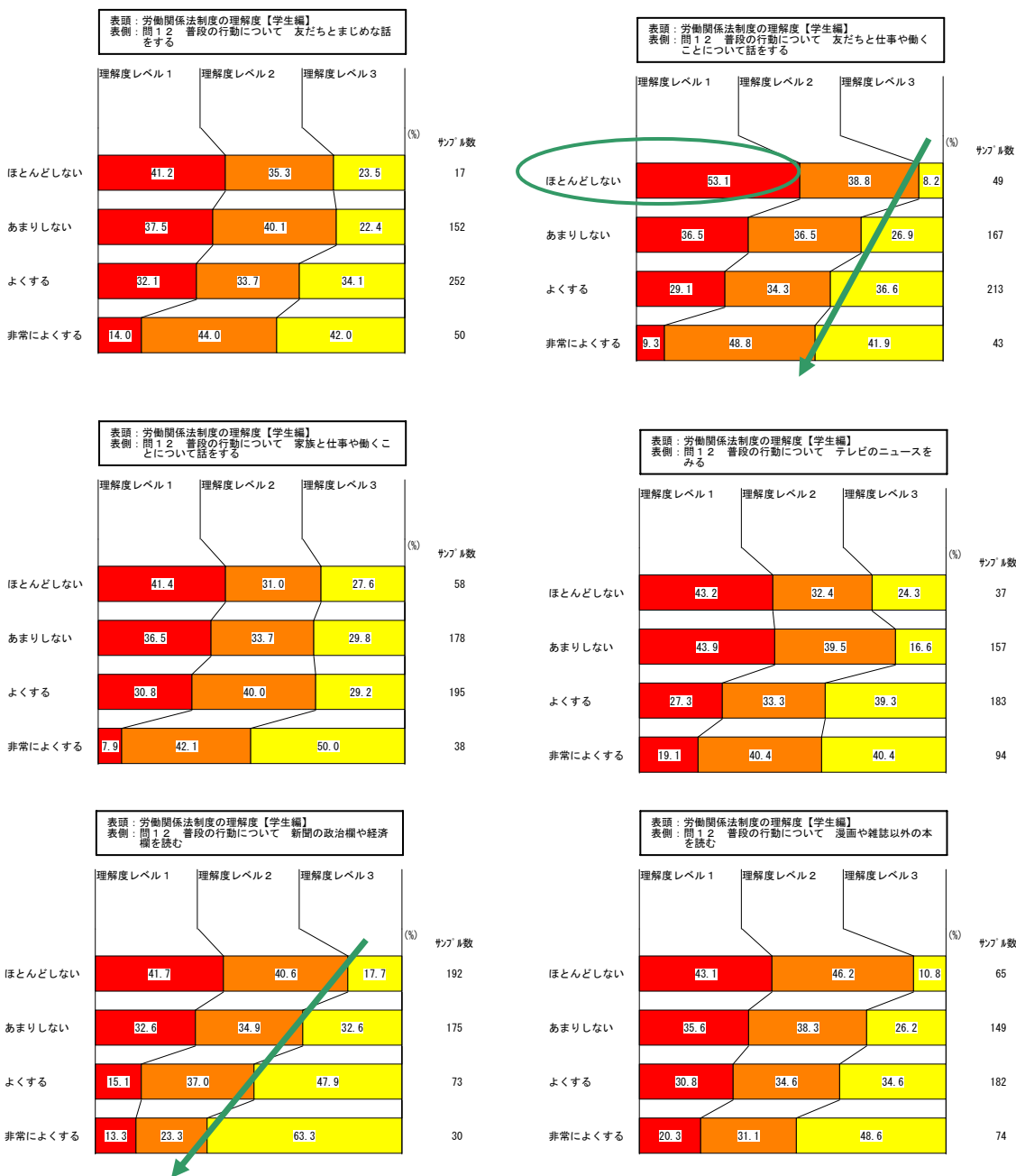
	理解度レベル1	理解度レベル2	理解度レベル3	(%)	サンプル数
労働者の権利・義務を学ぶ授業・プログラム	7.0	32.6	60.5		43
卒業生や人事担当者などの話を聞く授業・プログラム	14.3	32.4	53.3		105
職業体験学習等を行う授業・プログラム	3.3	38.9	52.8		72
進学・就職・進路に関する個別相談	16.7	33.3	50.0		72
資格取得を目的とした授業・プログラム	11.9	40.3	47.8		67
進学・就職など進路を考えるための授業・プログラム	12.5	39.8	47.7		88
業界説明会・企業説明会	13.3	39.0	47.6		105
就職活動に向けた模擬面接などの授業・プログラム	13.4	39.2	47.4		97
働き方や生き方、キャリアを考える授業・プログラム	11.1	42.0	46.9		81
就職活動の進め方を知る授業・プログラム	13.1	41.1	45.8		107
求人票の見方を学ぶ授業・プログラム	6.1	48.5	45.5		33
産業構造や働き方の変化などを知る授業・プログラム	10.2	44.9	44.9		49
職業適性や自己の価値観などを知る授業・プログラム	9.8	48.8	41.5		82
ひとつも経験していない	33.3	27.8	38.9		18

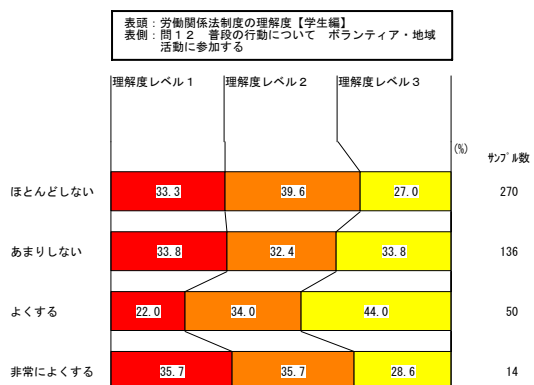
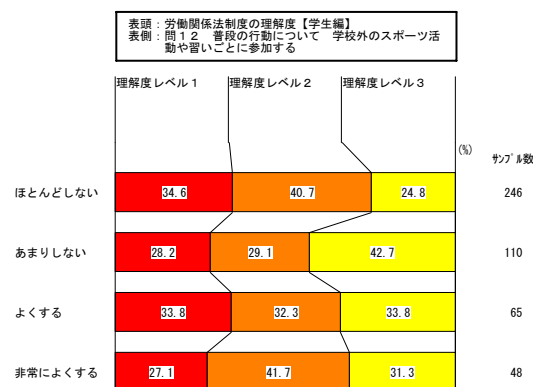
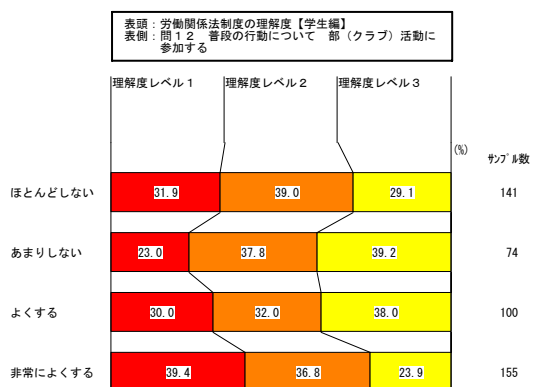
(4) 行動傾向別分析

『友だちと仕事や働くことについて話をする』『新聞の政治欄や経済欄を読む』生徒・学生ほど、理解度が進んでいる

友だちと仕事や働くことについての話をほとんどしない生徒・学生では、その半数以上が「理解度レベル1」にとどまっており、日ごろの関心の有無が理解度の差となっていることがわかる(53.1%)。一方、部活動や習い事、ボランティア活動などの経験は、直接的には理解度の向上に結びついていないようである。

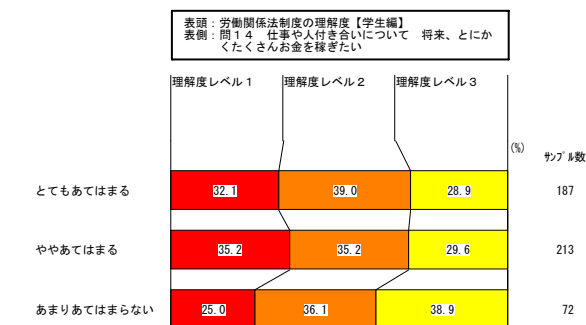
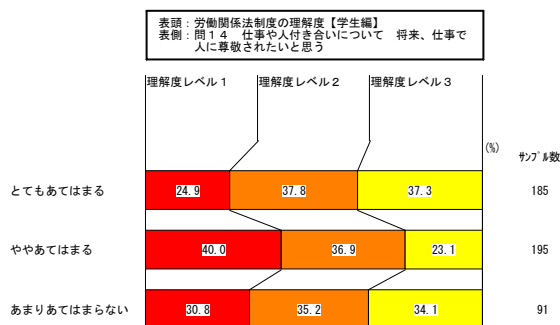
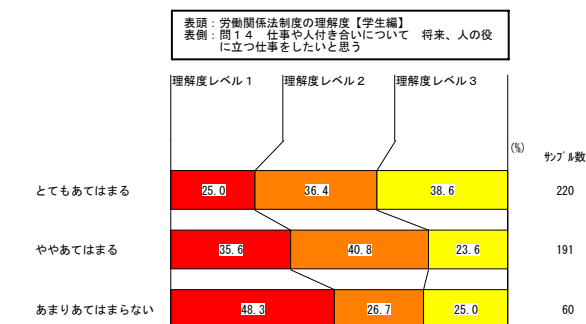
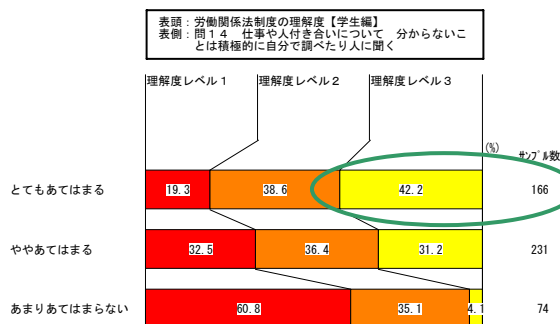
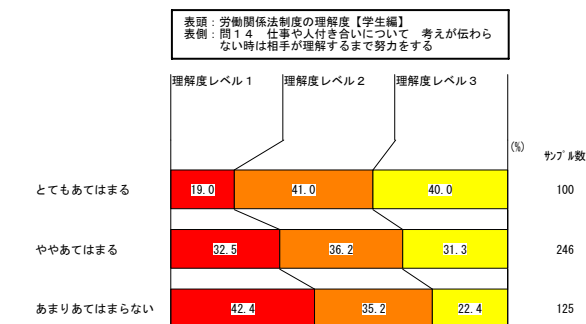
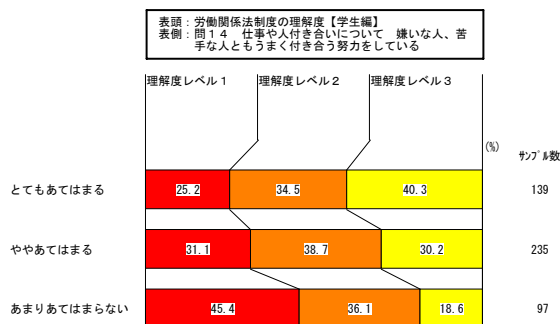
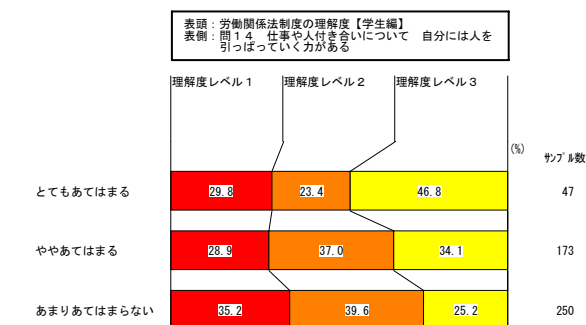
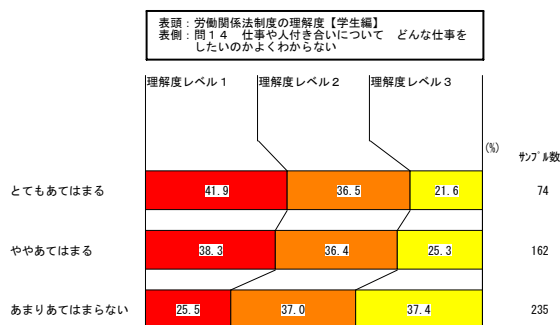
※問 12、14 のデータは高校生・大学生等を合算した値を掲示している。





『分からないことは積極的に自分で調べたり人に聞く』生徒・学生ほど、理解度が高い

『嫌いな人、苦手な人ともうまく付き合う努力をしている』『考えが伝わらない時は相手が理解するまで努力する』ということによくあてはまる生徒・学生ほど理解度レベルが高いことがわかる (40.3%、40.0%)。



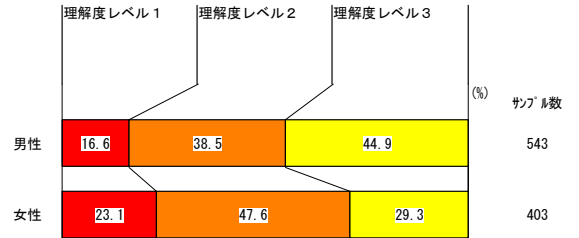
2. 社会人編

(1) 基本属性別分析

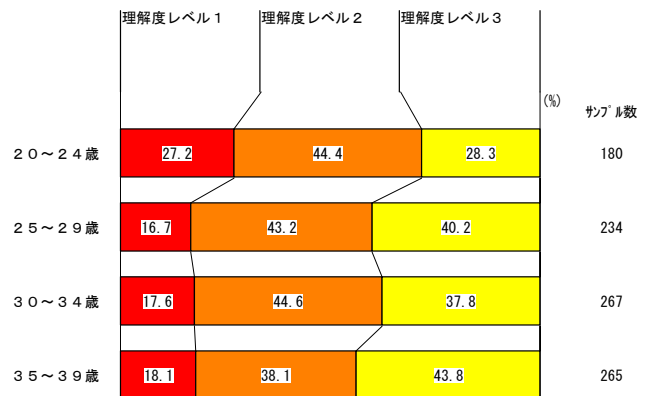
女性に比べると男性の方が理解度の高い者が多い

年代や婚姻状況、未就学児の有無による違いは見られない一方、最終学歴別に見ると、『大学』や『大学院』等を卒業した人はその他の層と比べて「理解度レベル3」の割合が高くなっている（49.0%、59.3%）。

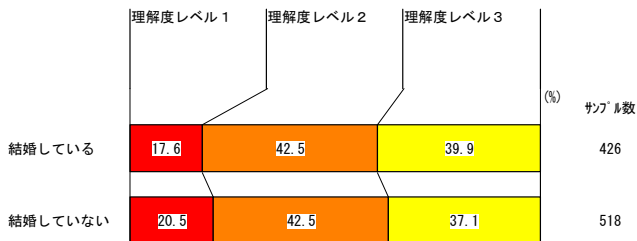
表頭：労働関係法制度の理解度【社会人編】
表側：問1 性別



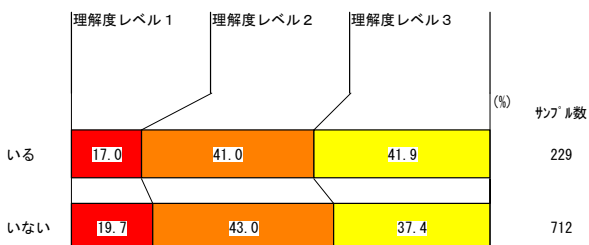
表頭：労働関係法制度の理解度【社会人編】
表側：問2 年齢



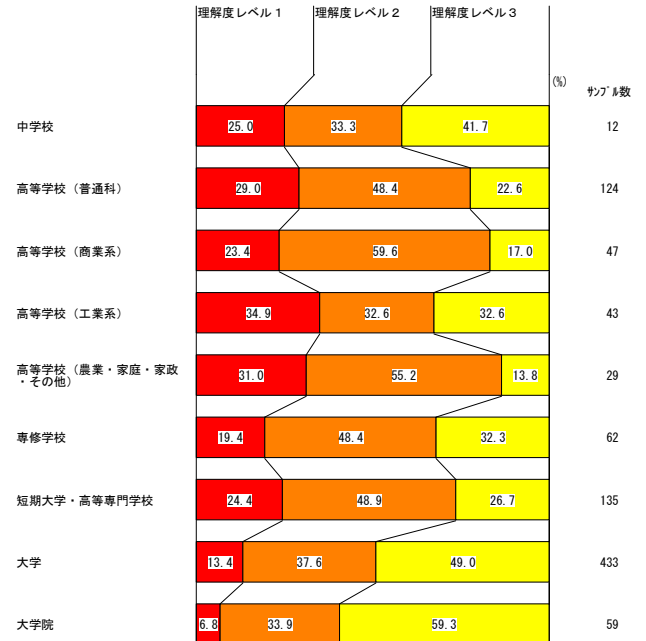
表頭：労働関係法制度の理解度【社会人編】
表側：問4 婚姻状況



表頭：労働関係法制度の理解度【社会人編】
表側：問5 6歳以下の子供の有無



表頭：労働関係法制度の理解度【社会人編】
表側：問6 最終学歴

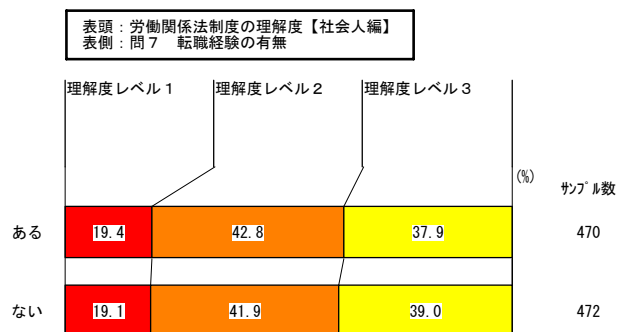
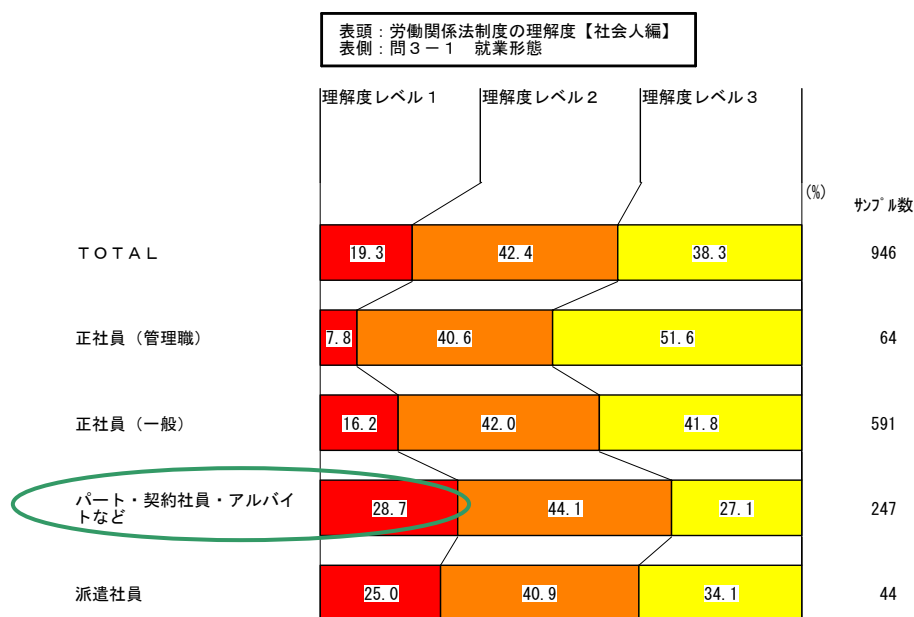


(2) 働き方の属性別分析

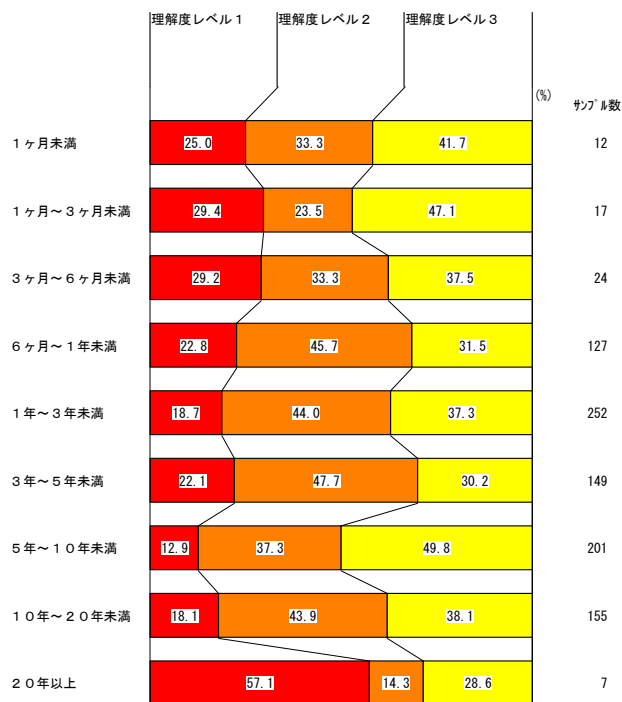
『パート・契約社員・アルバイト』の3割弱は理解度の低い層

就業形態別の理解度状況を見ると、『正社員（管理職）』でもっとも「理解度レベル3」の割合が高く（51.6%）、『パート・契約社員・アルバイト』の層で「理解度レベル1」の割合が高くなっている（28.7%）。

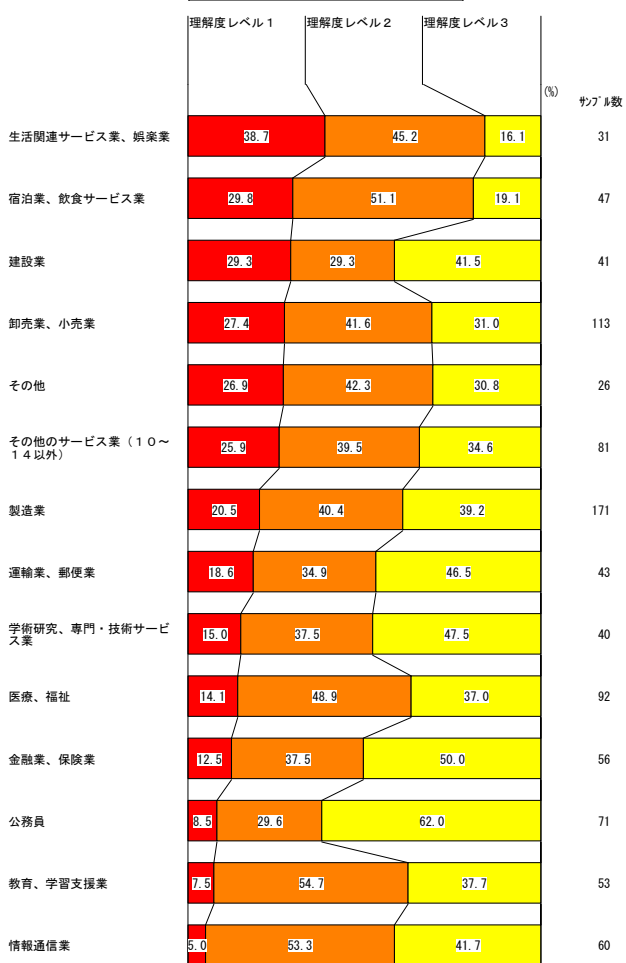
勤続年数や転職経験の有無では理解度レベルに大きな違いは見られないが、業種・職種によっては傾向に違いがみられる。「理解度レベル1」の層の割合が高いのは、業種では『生活関連サービス業、娯楽業（38.7%）』『宿泊業、飲食サービス業（29.8%）』となっている。また職種では『ウェイトナー・ウェイトレス、ホテルマン等のサービス業（33.3%）』『理・美容師、調理師などのサービス業（31.6%）』において、他の職種に比べ「理解度レベル1」の層の割合が高くなっている。



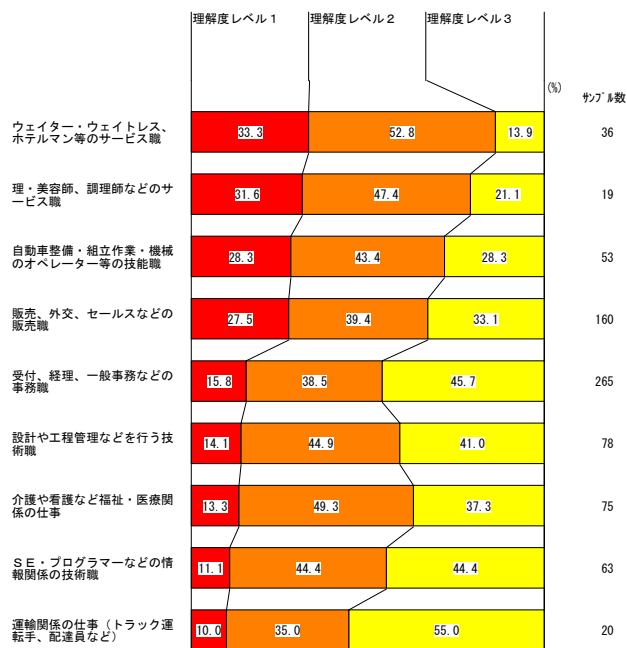
表頭：労働関係法制度の理解度【社会人編】
表例：問3-2 勤続年数【ベース：雇用者】



表頭：労働関係法制度の理解度【社会人編】
表例：問3-3 業種【ベース：雇用者】



表頭：労働関係法制度の理解度【社会人編】
表例：問3-4 職種【ベース：雇用者】

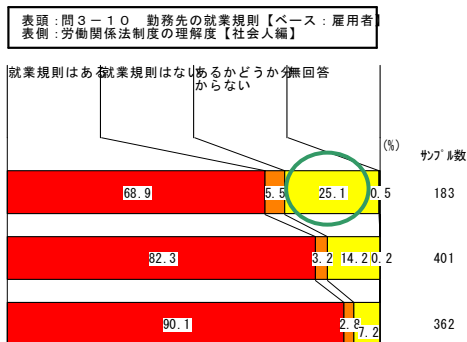
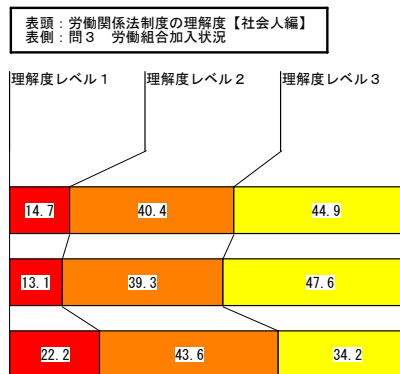
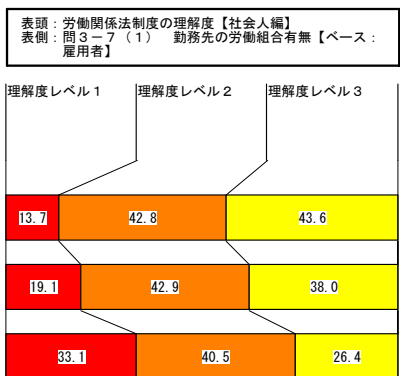
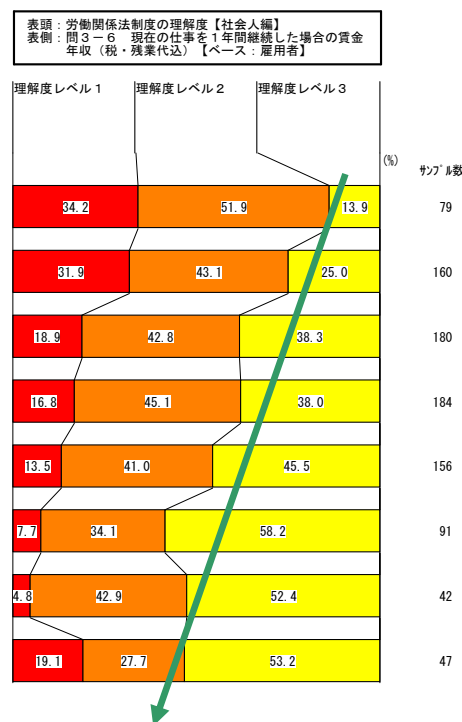
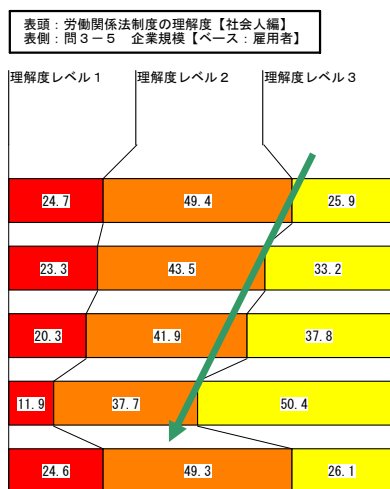


規模の大きな会社に勤める人の方が理解度が高い

勤め先の従業員規模別に見ると、相対的に従業員規模が大きな会社に勤めている人のほうが「理解度レベル3」の割合が高くなっていることがわかる（9人以下；25.9%、1000人以上；50.4%）。

労働組合の加入状況別にみると『労働組合があるかどうか分からない』、労働組合に『加入経験なし』の人で、「理解度レベル1」の割合が高くなっている（33.1%、22.2%）。

一方、『理解度レベル1』の層では、自社に就業規則が「あるかどうか分からない」と答えた人が4人に1人を占めている（25.1%）



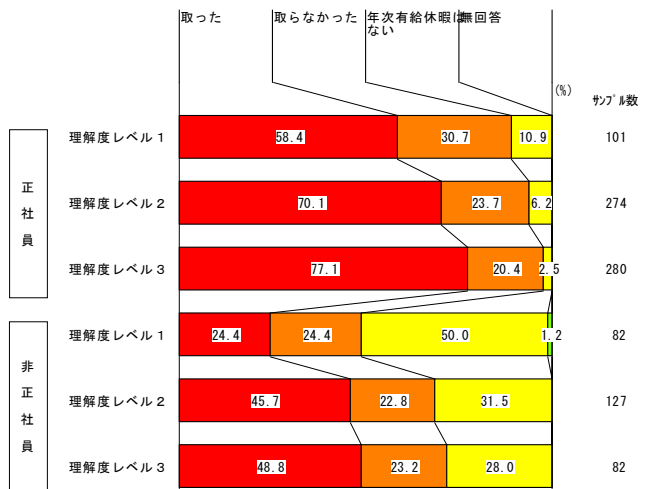
理解度の高い人ほど、有給休暇を取得する割合が高く、労働時間が短い

正社員『理解度レベル1』の層では、有給取得者は6割弱（58.4%）であるのに対し、『理解度レベル3』の層では8割弱（77.1%）が有給を取得している。また、取得日数も理解度の高い人ほど多い傾向にある。

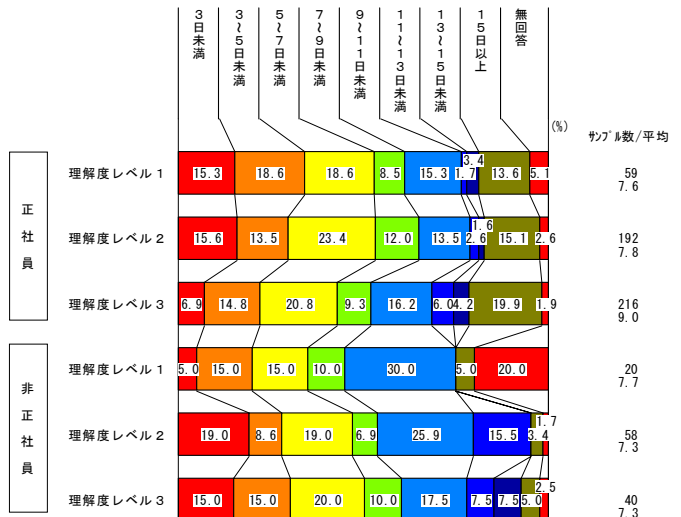
1週間の実労働時間についても平均時間は『理解度レベル3』の層は『理解度レベル1』の層に比べて4.5時間短い。

一方、非正社員では、『理解度レベル1』の層で「年次有給休暇はない」との回答が半数を占めている（50.0%）。また実労働時間については理解度が低い層の方が短くなっているが、これらはパート・アルバイトの層と派遣・契約社員の層との違いによるものと考えられる。

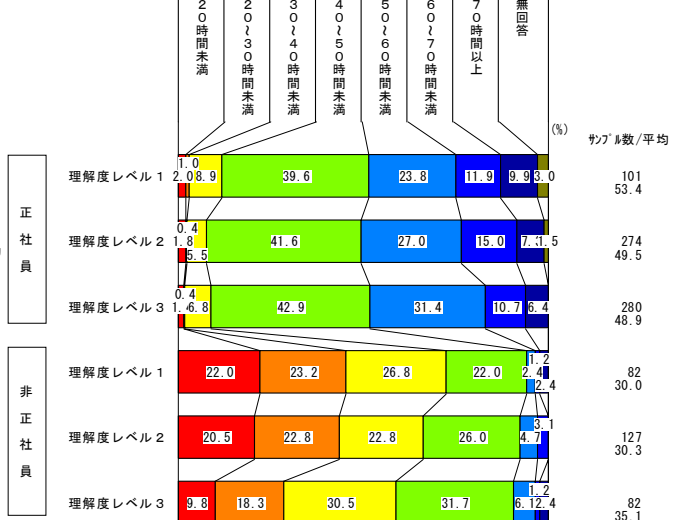
表頭：問3-9 昨年度の年次有給休暇の取得状況【ベース：雇用者】
表側：労働関係法制度の理解度【社会人編】



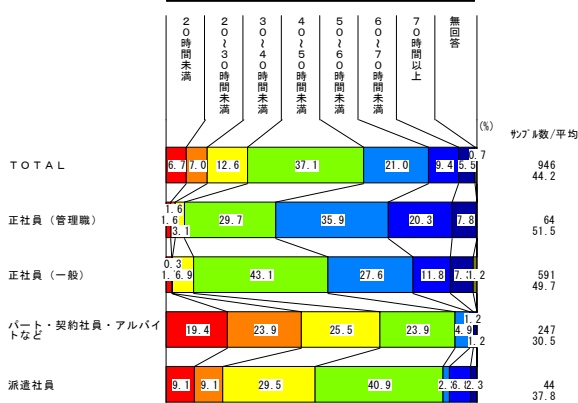
表頭：問3-9 昨年度の年次有給休暇の取得日数【ベース：有給取得者】
表側：労働関係法制度の理解度【社会人編】



表頭：問3-8 1週間の実労働時間【ベース：雇用者】
表側：労働関係法制度の理解度【社会人編】



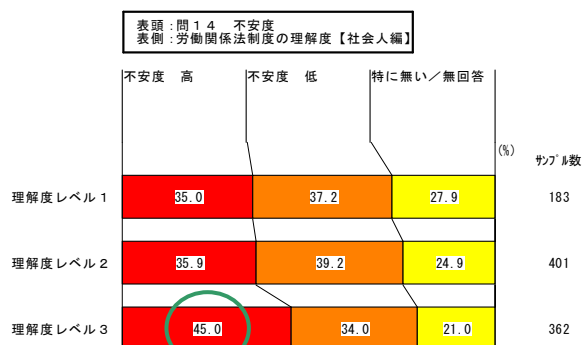
表頭：問3-8 1週間の実労働時間【ベース：雇用者】
表側：問3-1 就業形態



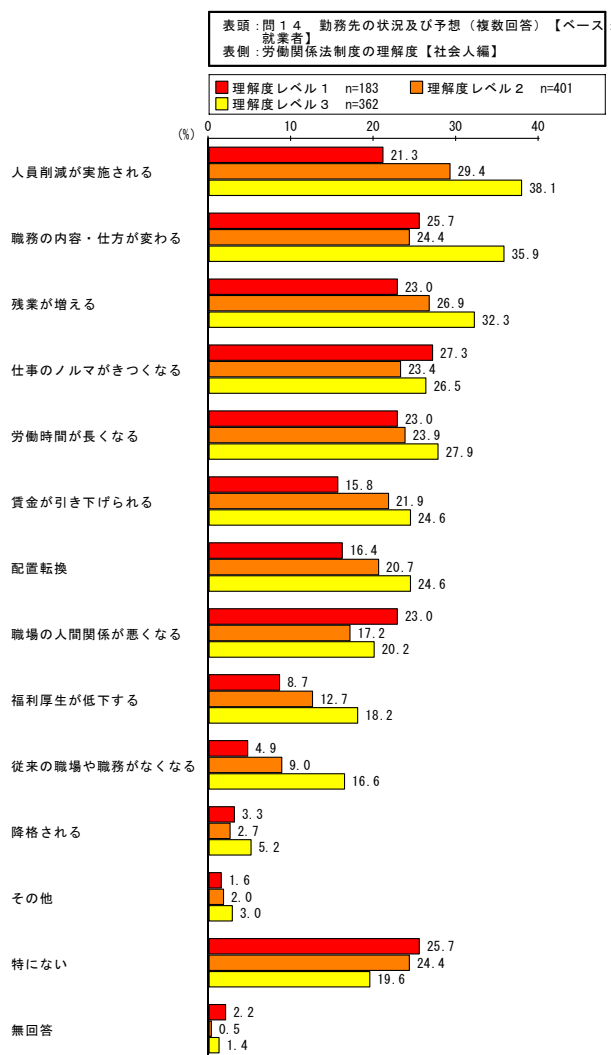
理解度の高い層ほど今後に対する不安を感じている

勤務先の状況や今後についての予想として3つ以上の不安があると回答した割合（不安度：高）は、『理解度レベル1』の層に比べて『理解度レベル3』の層で10ポイント高くなっている。

不安と答えた人の多い順としては「人員削減が実施される」「職務の内容・仕方が変わる」「残業が増える」となっている。いずれも『理解度レベル3』の層の3割以上が不安と答えており、他の層よりも回答の割合が高くなっている。



※「不安度 高」とは、問14の複数回答で3つ以上に○をつけた層。「不安度 低」とは1つまたは2つに○をつけた層。



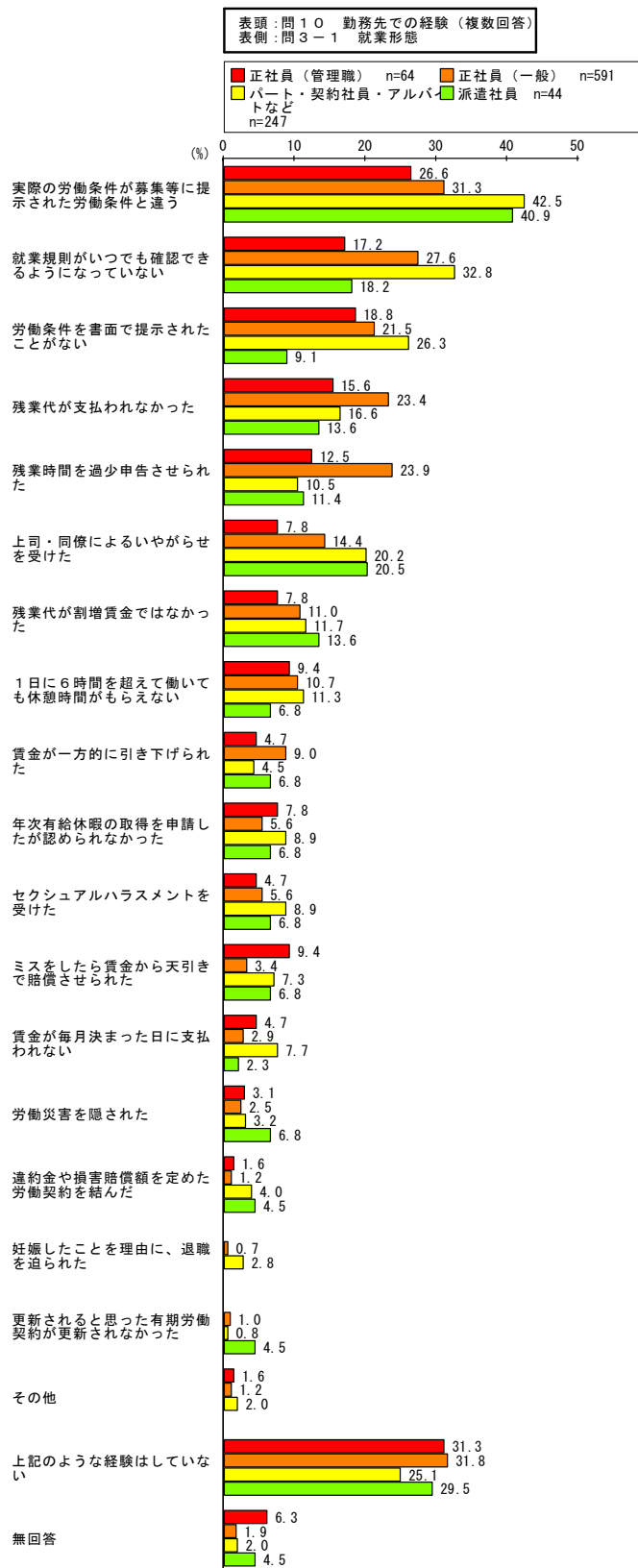
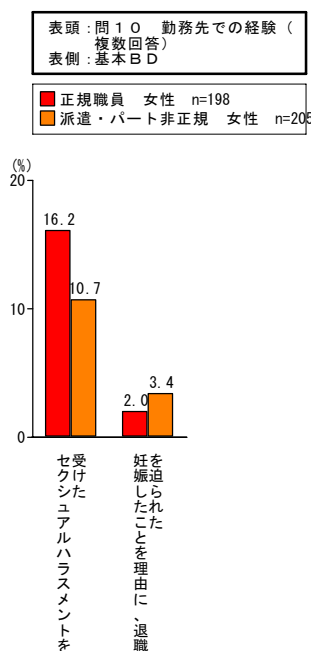
(3) 経験・行動分析

パート等の4割は、募集時と実際の労働条件が異なる経験がある

『パート・契約社員・アルバイトなど』や『派遣社員』では「実際の労働条件が募集等に提示された労働条件と違う」という経験をしたことがある人が4割にもものぼる(42.5%、40.9%)。

また、『正社員(一般)』では2割以上が「残業代が支払われなかった」「残業時間を過少申告させられた」経験をもっていることがわかった(23.4%、23.9%)。

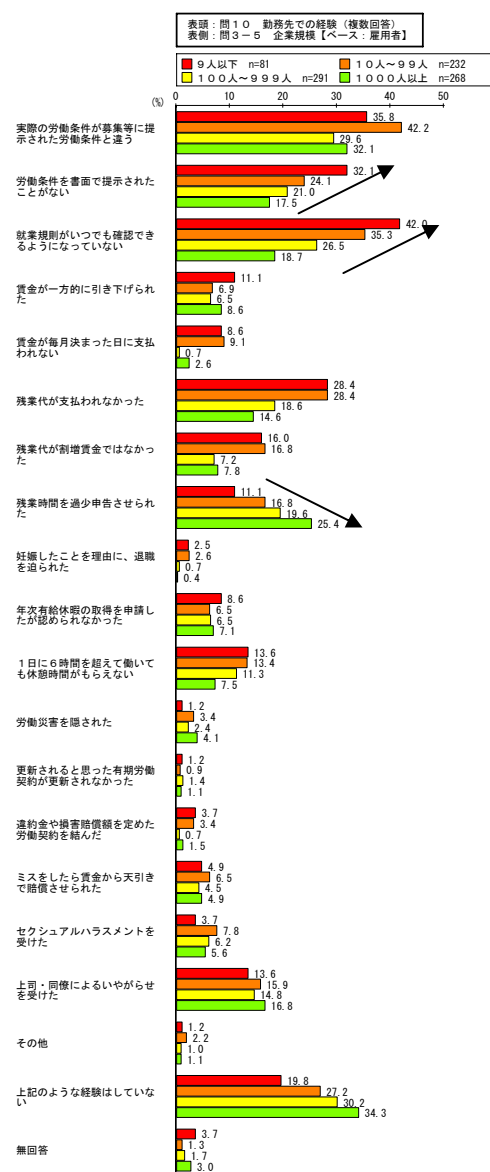
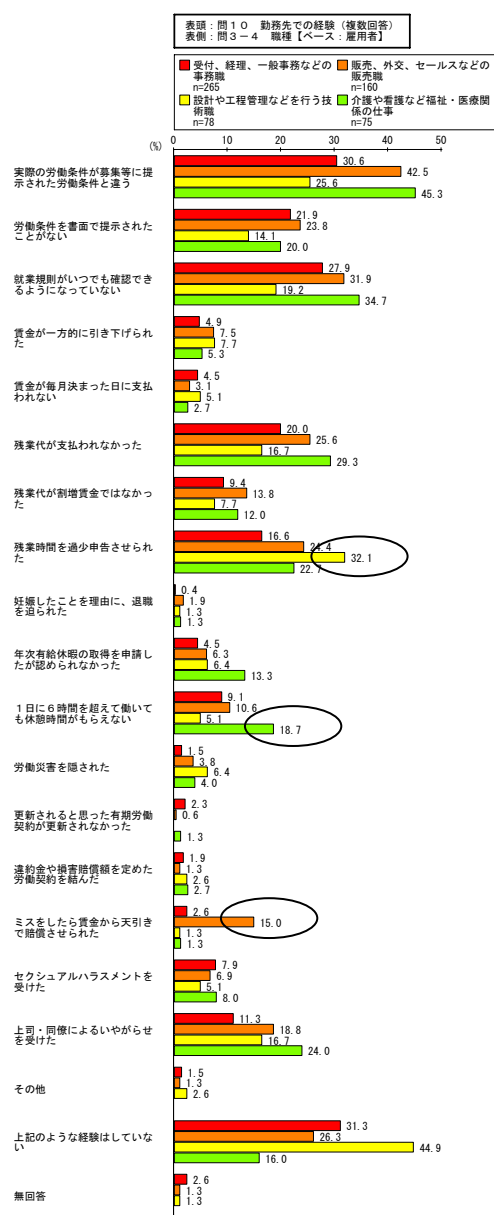
また、正社員女性の2割弱(16.2%)、非正社員女性の1割(10.7%)には「セクシュアル・ハラスメントを受けた」経験があり、妊娠を理由に退職を迫られた経験をもつ人もみられる。



職種や企業規模により、勤務先での経験が異なる

『技術職』では残業時間の過少申告(32.1%)、『販売職』では賃金天引き賠償(15.0%)、『福祉・医療関係職』では休憩時間なし6時間超労働(18.7%)が他の職種よりも経験した割合が高くなっており、職種によって異なることがわかる。

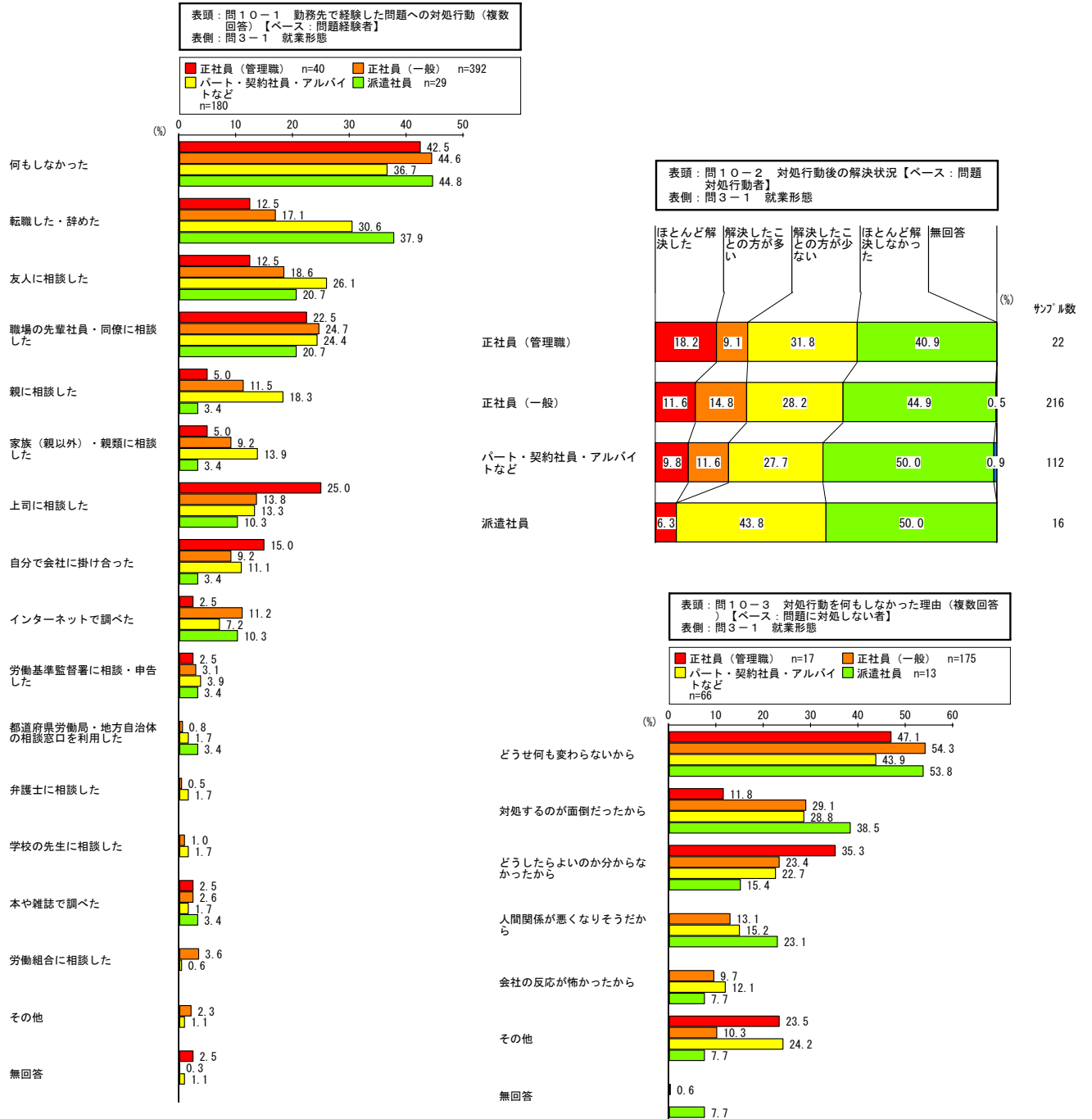
また、従業員規模の小さな会社では就業規則や労働条件の提示が不足する一方、企業規模が大きくなるほど残業時間を過少申告をさせられた傾向が強い(9人以下; 11.1%、1000人以上; 25.4%)。「上記のような経験はしていない」との回答傾向からみて、企業規模が小さい会社に勤めている人ほど何らかの経験をしている割合が高いことがわかる。



「何もしなかった」がもっとも多く、「転職した・辞めた」が続く

『正社員（一般）』の4割以上（44.6%）は「何もしなかった」と答えている。その理由は「どうせ何も変わらないから」が半数以上（54.3%）。

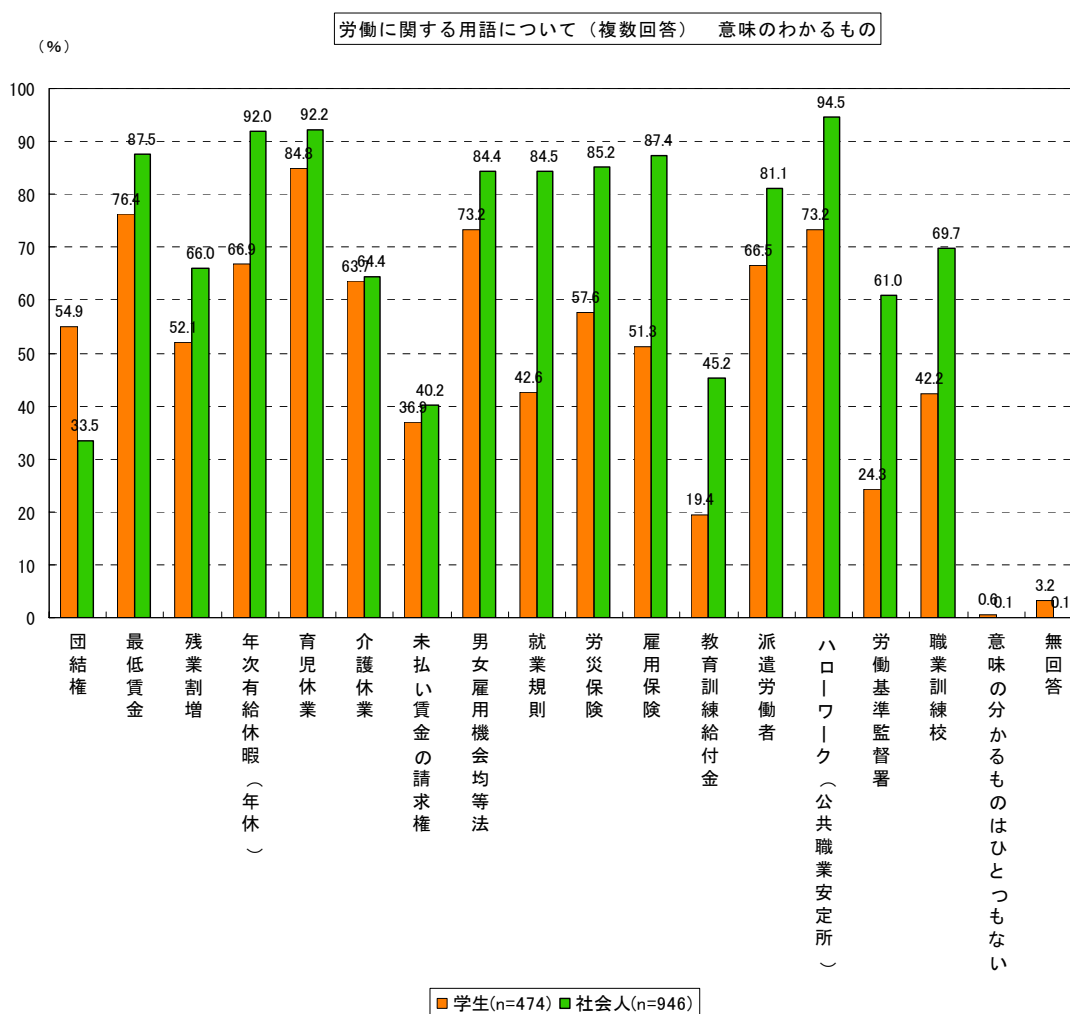
一方、『パート・契約社員・アルバイトなど』の3割（30.6%）は、「転職した・辞めた」と回答している。



3. 学生と社会人の比較編

(1) 用語認知状況

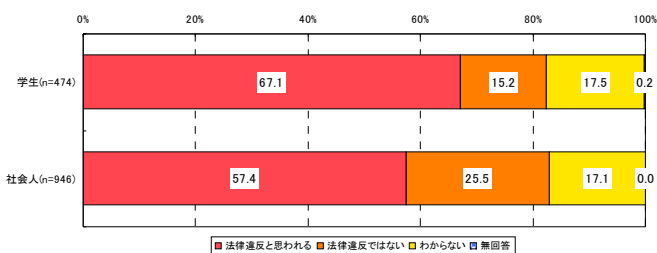
理解度指標として分析した各種用語の認知状況について、学生と社会人の差を比較したところ、「団結権」のみ『学生』の認知率が高いものの、他の用語についてはすべて『社会人』の認知率が高いことがわかる。



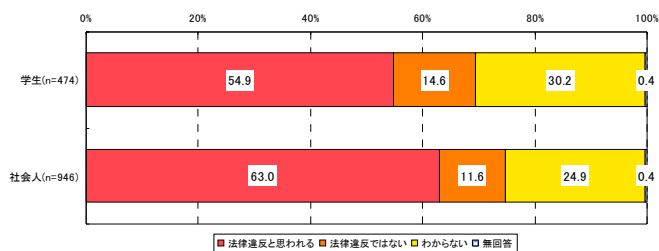
(2) 事例判断状況

育児休業制度については、学生のほうが正しい解答をした割合が高い。

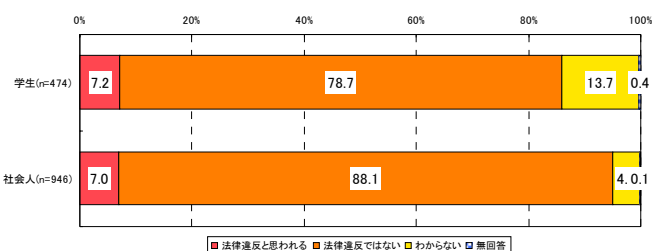
E：会社から育児休業制度はないからとれないと言われた



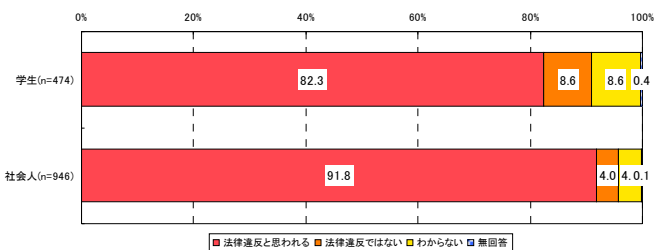
A：同僚と労働組合を作ったが会社は解散するように言った



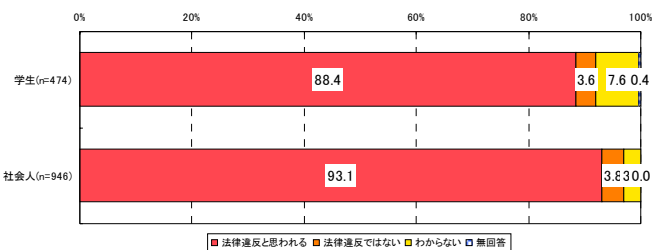
F：会社が倒産したが未払いの先月分給与を要求した



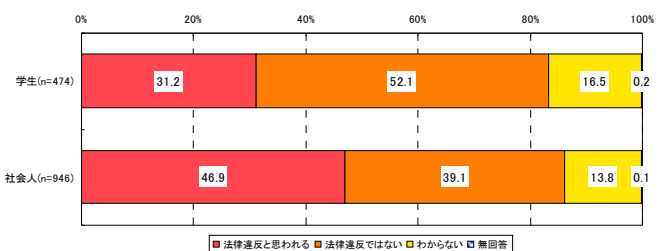
B：パートなので時給が国で決められた最低賃金より低い



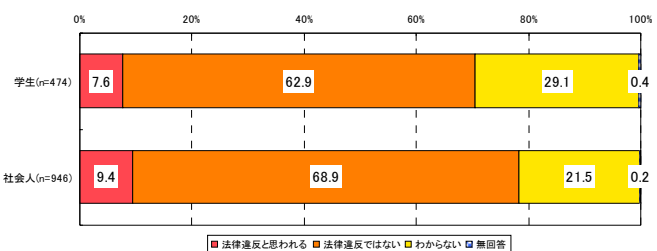
G/H：会社が女性と同じ仕事でも給料を低くしていると言った



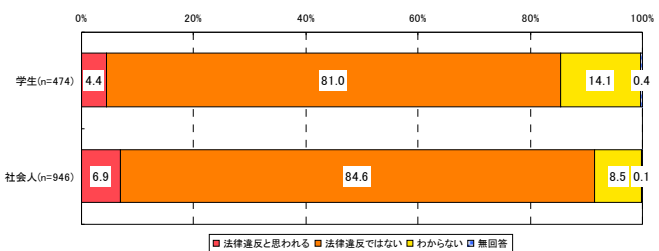
C：時給契約のため週40時間以上働いても時給が同じ



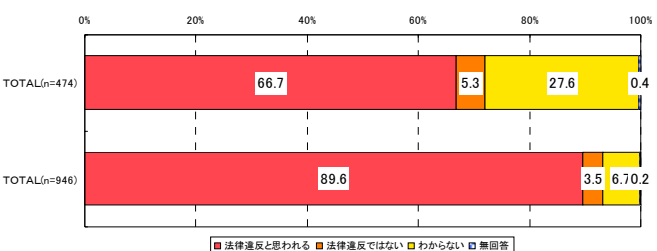
I：会社から休むよう言われ休業期間中の手当を請求をした



D：4月入社の新入社員が10月に年次有給休暇を申請した



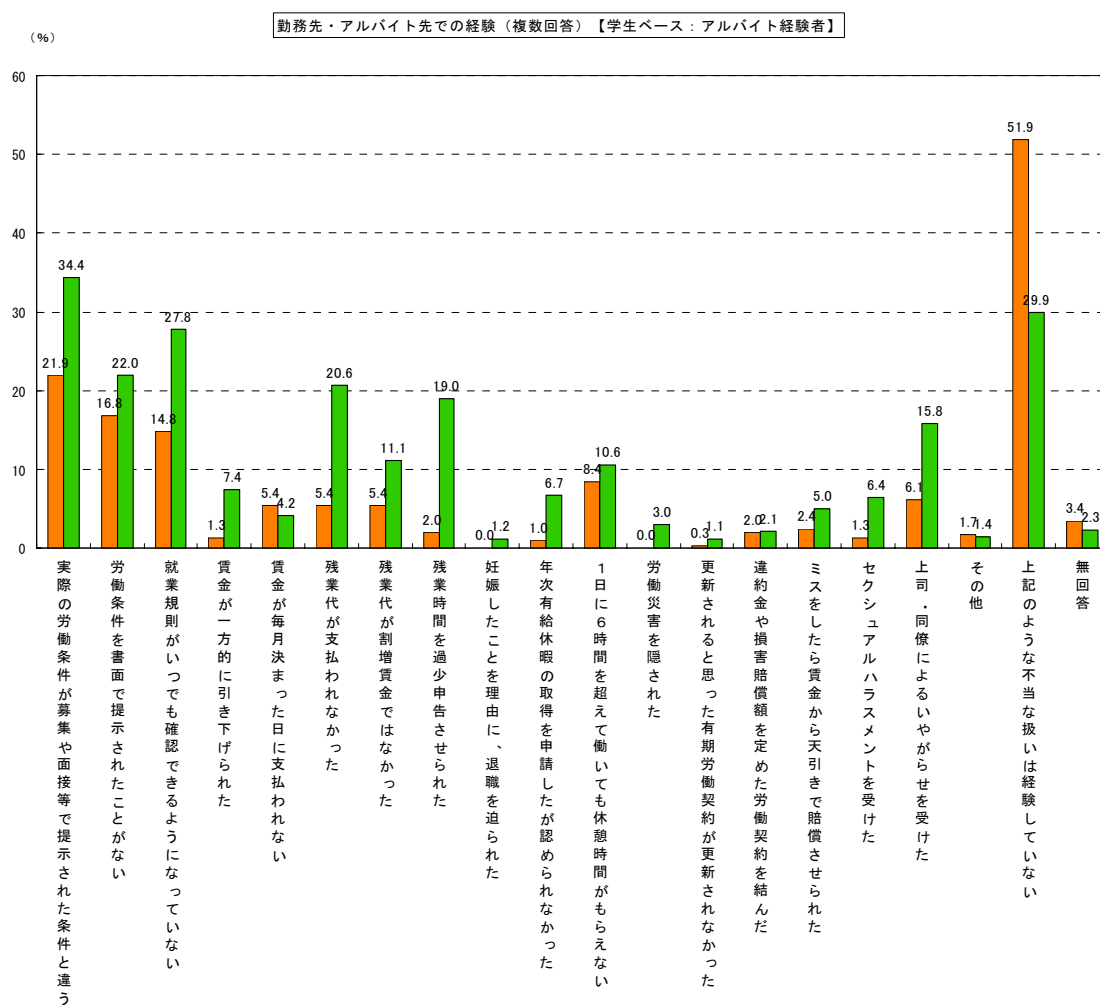
J：会社から仕事中の怪我に健康保険の利用を打診された



(3) 職場での経験

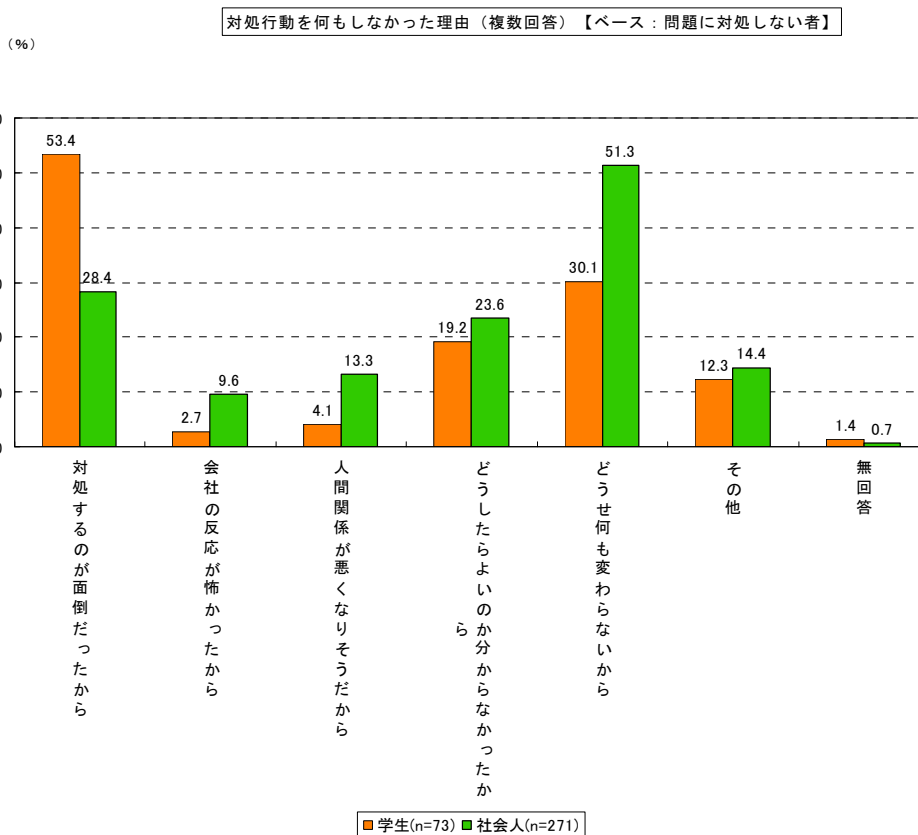
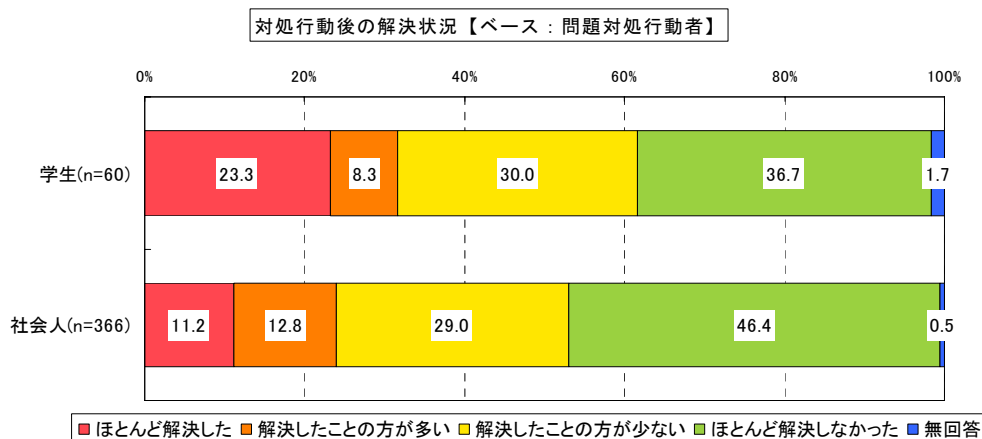
職場での経験は、当然ながら社会人での経験割合が高くなっている。特に「残業代が支払われなかった」「残業時間を過少申告させられた」割合が高くなっている。

学生のうちに職場での不当な経験をした割合は約半数であるが、社会人になると約7割が何らかの不当な経験をしていることがわかる。



(4) 対処行動の違い

学生に比べて社会人では「ほとんど解決しなかった」割合が 9.7 ポイント高い。また、社会人になると「どうせ何も変わらないから」何もしなかった人が約半数にのぼる (51.3%)



参考 1 : 調査票 (学生編)

問 1. 性別

(○はひとつ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問 2. 年齢 (2008 年 10 月現在)

		歳
--	--	---

問 3. 所属

(○はひとつ)

1. 高等学校 (普通科)	5. 専修学校
2. 高等学校 (商業系)	6. 短期大学・高等専門学校
3. 高等学校 (工業系)	7. 大学
4. 高等学校 (農業・家庭・家政・その他)	8. 大学院

問 4. 学年

(○はひとつ)

1. 1 年生	3. 3 年生	5. 5 年生以上
2. 2 年生	4. 4 年生	

問 5. あなたは、今の学校を卒業したあとに、どの進路に進みたいと思っていますか。

(○はひとつ)

1. 正社員	}	問 5-1 へ	7. 進学 (大学)
2. パート・アルバイト・契約社員			8. 進学 (大学院)
3. 派遣社員			9. 留学
4. 自営業・内職、起業			10. 家事手伝い
5. 進学 (専門学校)			11. 未定
6. 進学 (短大・高専)			12. その他 ()

問 5-1. 【問 5 で 1 ~ 3 と回答した方におたずねします】

就職活動についておたずねします。あてはまるものに○をつけてください。

(○はひとつ)

1. 就職活動を終えた (就職予定先が決まっている) ⇒問 5-2 へ
2. 就職活動を終えた (内定をもらっていない)
3. 就職活動中である
4. まだ就職活動の時期 (学年) ではない

問 5-2. 【問 5-1 で「1. 就職活動を終えた (就職予定先が決まっている)」と回答した方におたずねします】

(1) 内定先の企業規模 (社員数)

(○はひとつ)

1. 民間の小企業 (29 人以下)	4. 公務員 (地方自治体、警察、自衛官など)
2. 民間の中企業 (30 人以上 499 人以下)	5. 分からない
3. 民間の大企業 (500 人以上)	

(2) 職種

(○はひとつ)

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| 1. 受付、経理、一般事務などの事務職 | 8. 理・美容師、調理師などのサービス職 |
| 2. 販売、外交、セールスなどの販売職 | 9. ウェイター・ウェイトレス、ホテルマンなどのサービス職 |
| 3. 大工・左官、建具師などの職人的仕事 | 10. 介護や看護など福祉・医療関係の仕事 |
| 4. 土木工事などの現場作業者 | 11. 運輸関係の仕事（トラック運転手、配達員など） |
| 5. 自動車整備・組立作業・機械のオペレーターなどの技能職 | 12. 保安関係の仕事（守衛や警備、消防、警察、自衛官など） |
| 6. SE・プログラマーなどの情報関係の技術職 | 13. 不明・未定 |
| 7. 設計や工程管理などを行う技術職 | 14. その他（ ） |

問6. あなたは20歳代後半から30歳頃になったときに、どのような働き方をしたいと思いますか。最も近いものに○をつけてください。(○はひとつ)

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 自分で事業を起こす、経営者になる | 5. 仕事以外の自分の時間を重視する働き方 |
| 2. 親の家業をつぐ | 6. 専業主婦・主夫になる |
| 3. ひとつの会社で比較的長く働き、能力を蓄積できるような働き方 | 7. その他（ ） |
| 4. 比較的組織に縛られず、専門的な技術・知識を活かした働き方 | 8. わからない |

問7. あなたは、これまでにアルバイト等で働いた経験がありますか。(○はひとつ)

- | |
|----------------------|
| 1. ある ⇒ 問7-1へお進みください |
| 2. ない ⇒ 問9へお進みください |

問7-1. 現在又は直近のアルバイト先の職種（現在複数のアルバイトをしている場合はすべてについてお答えください。）(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|--|
| 1. ファーストフード、コーヒーショップ、居酒屋、ファミリーレストラン、コンビニ、スーパー、デパート、ショップなどでの店頭販売、レジ、調理、フロア係など | 4. テレフォンアポインター、コンパニオン、カード加入勧誘などの販売促進スタッフなど |
| 2. 上記1における、グループリーダーなど、後輩を指導する役職 | 5. 一般事務、コンピュータ操作など |
| 3. 上記1における、店長代理など、アルバイト管理全般や店舗運営にかかわる役職 | 6. 引っ越し作業業務、会場設営、製造現場における軽作業など |
| | 7. 家庭教師、塾講師、通信添削指導員など |
| | 8. その他（ ） |

問7-2. 残業を含めた先月（2008年9月）の賃金収入 (○はひとつ)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 先月は働いていなかった | 4. 5万～10万円未満 | 6. 20万円以上 |
| 2. 1万円未満 | 5. 10万～20万円未満 | |
| 3. 1万～5万円未満 | | |

問7-3. 先月、あなたは1週間に平均して何時間ぐらいアルバイトをしていましたか。
(○はひとつ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. アルバイトはしなかった | 6. 20～25 時間未満 |
| 2. 1～5 時間未満 | 7. 25～30 時間未満 |
| 3. 5～10 時間未満 | 8. 30～35 時間未満 |
| 4. 10～15 時間未満 | 9. 35～40 時間未満 |
| 5. 15～20 時間未満 | 10. 40 時間以上 |

問8. 【問7でアルバイト経験があると回答した方におたずねします】

あなたは、アルバイト先で以下のことを経験したことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 実際の労働条件が、募集や面接等の際に提示された労働条件と違う |
| 2. 労働条件を書面で提示されたことがない |
| 3. 就業規則がいつでも確認できるようになっていない |
| 4. 賃金が一方的に引き下げられた |
| 5. 賃金が毎月決まった日に支払われない |
| 6. 残業代が支払われなかった |
| 7. 残業代が割増賃金ではなかった |
| 8. 残業時間を過少申告させられた |
| 9. 妊娠したことを理由に、退職を迫られた |
| 10. 年次有給休暇の取得を申請したが認められなかった |
| 11. 1日に6時間を超えて働いても休憩時間がもらえない |
| 12. 労働災害を隠された |
| 13. 更新されると思っていた有期労働契約が更新されなかった |
| 14. 違約金や損害賠償額を定めた労働契約を結んだ(途中で辞めたら、遅刻したら、罰金○万円など) |
| 15. ミスをしたら賃金から天引きで賠償させられた |
| 16. セクシュアルハラスメント(性的ないやがらせ)を受けた |
| 17. 上司・同僚によるいやがらせを受けた |
| 18. その他 () |
| 19. 上記のような不当な扱いは経験していない |

問8-1. 【問8で1～18に1つ以上○をつけた方におたずねします】

あなたは、そのような経験をしたときに次に挙げるような行動をとりましたか。これまでにとった行動すべてに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1. 上司に相談した | 8. 親に相談した |
| 2. 自分で会社に掛け合った | 9. 家族(親以外)・親類に相談した |
| 3. 職場の先輩社員・同僚に相談した | 10. 学校の先生に相談した |
| 4. 労働組合に相談した | 11. 友人に相談した |
| 5. 労働基準監督署に相談・申告した | 12. インターネットで調べた |
| 6. 都道府県労働局・地方自治体の相談窓口を利用した | 13. 本や雑誌で調べた |
| 7. 弁護士に相談した | 14. 転職した・辞めた |
| | 15. 何もしなかった ⇒ <u>問8-3へ</u> |
| | 16. その他 () |

問8-2. 行動を起こした結果、あなたの経験した問題が解決したことがありますか。
(○はひとつ)

1. ほとんど解決した	3. 解決したことの方が少ない
2. 解決したことの方が多い	4. ほとんど解決しなかった

問8-3. 【問8-1で「15. 何もしなかった」とお答えした方におたずねします】
それはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 対処するのが面倒だったから	4. どうしたらよいのか分からなかったから
2. 会社の反応が怖かったから	5. どうせ何も変わらないから
3. 人間関係が悪くなりそうだから	6. その他 ()

問9. 次の言葉のうち、意味のわかるものに○をつけてください。そのうち、これまで通学した学校における授業や進路指導で意味を教わったものに○をつけてください。
(あてはまるものすべてに○)

	(1) 意味のわかるもの	(2) 学校における授業や進路指導で教わったもの
団結権	1	1
最低賃金	2	2
残業割増	3	3
年次有給休暇 (年休)	4	4
育児休業	5	5
介護休業	6	6
未払い賃金の請求権	7	7
男女雇用機会均等法	8	8
就業規則	9	9
労災保険	10	10
雇用保険	11	11
教育訓練給付金	12	12
派遣労働者	13	13
ハローワーク (公共職業安定所)	14	14
労働基準監督署	15	15
職業訓練校	16	16
意味の分かるもの/教わったものはひとつもない	17	17

問 10. あなたは、以下の下線部の記述について、法律違反と思われるものがありますか。いずれかに○をつけてください。
(それぞれ○はひとつずつ)

事例	法律違反と思われる	法律違反ではない	わからない
Aさんは、就職した会社に労働組合がなかったので、同じ職場の人を誘って、労働組合を作ったところ、 <u>会社はAさんに対して労働組合を解散するように言った。</u>	1	2	3
Bさんは、スーパーで働いているが、 <u>パートなので、時給が国で決められた最低賃金より低い。</u>	1	2	3
Cさんは工場で時給 1,000 円で働いている。 <u>週に 40 時間働いても 50 時間働いても、時給は同じ 1,000 円が支給される。</u>	1	2	3
Dさんは、今年 4 月に採用された 1 年目の新入社員で、これまで欠勤はしていない。 <u>Dさんは、10 月に友人と旅行に行くため、会社に 3 日間の年次有給休暇を申請した。</u>	1	2	3
Eさんは、近々出産の予定である。そこで、育児休業を取得しようと会社に申し出たら、 <u>会社から「うちには育児休業制度はないからとれない」と言われた。</u>	1	2	3
Fさんの勤めていた会社が倒産した。 <u>Fさんは、その会社に、まだ受け取っていない先月分の給与を支払うよう申し出た。</u>	1	2	3
Gさんは女性で、同僚のHさん（男性）と同じ仕事をしているが、 <u>会社はGさんに対して「Gさんは女性だからHさんよりも給料を低くしている」と言った。</u>	1	2	3
Iさんは、会社から「仕事がないので休んでください。」と言われた。 <u>Iさんは、会社に対して、休業期間中の手当を請求した。</u>	1	2	3
Jさんは、建設現場で仕事中に怪我をした。 <u>会社から「治療費は、労災保険ではなく、健康保険を利用して欲しい」と言われた。</u>	1	2	3

問 11. 以下の各項目について、受講・参加した経験をお答えください。(2)は短大以上に
進学された方のみお答えください。(あてはまるものすべてに○)

	(1) 高校 までに学んだ	(2) 短大・高専・専修 大学・大学院で学んだ
進学・就職など進路を考えるための授業・プログラム	1	1
就職活動の進め方を知る授業・プログラム	2	2
就職活動に向けた模擬面接、エントリーシートの書き方、社会人マナーなどの授業・プログラム	3	3
業界説明会・企業説明会	4	4
職業体験学習やインターンシップを行う授業・プログラム	5	5
働き方や生き方、キャリアを考える授業・プログラム	6	6
職業適性や自己の価値観、強み・弱みなどを知る授業・プログラム	7	7
産業構造の変化や働き方の変化、労働市場の状況などを知る授業・プログラム	8	8
卒業生や経営者、人事担当者などの話を聞く授業・プログラム	9	9
求人票の見方を学ぶ授業・プログラム	10	10
労働者の権利・義務を学ぶ授業・プログラム	11	11
資格取得を目的とした授業・プログラム	12	12
進学・就職・進路に関する個別相談	13	13
ひとつも経験していない	14	14

問 12. ふだん、あなたは次のことを行いますか。それぞれの項目について、「1ほとんどしない」から「4非常によくする」のうちもっとも当てはまるものに○をつけてください。
(それぞれ○はひとつずつ)

	ほとんど しない	あまり しない	よく する	非常 によく する
友だちとまじめな話をする	1	2	3	4
友だちと仕事や働くことについて話をする	1	2	3	4
家族と仕事や働くことについて話をする	1	2	3	4
テレビのニュースをみる	1	2	3	4
新聞の政治欄や経済欄を読む	1	2	3	4
漫画や雑誌以外の本を読む	1	2	3	4
部(クラブ)活動に参加する	1	2	3	4
学校外のスポーツ活動や習いごと(音楽・芸術・語学・踊りなど)に参加する	1	2	3	4
ボランティア・地域活動に参加する	1	2	3	4

問 13. ふだん、あなたは、以下のことについて誰とよく話をしますか。

(あてはまるものすべてに○)

	(保護者) ご家族	学校の先生	先輩社員 先の上司や アルバイト	友人	その他	誰とも 話さない
学校での出来事について	1	2	3	4	5	6
学校卒業後の進学について	1	2	3	4	5	6
世のなかの出来事について	1	2	3	4	5	6
悩み事について	1	2	3	4	5	6

問 14. 次の事がらについて、あてはまるものに○をつけて下さい。

(それぞれ○はひとつずつ)

	とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない
どんな仕事をしたいのかよくわからない	1	2	3
自分には人を引っぱっていく力がある	1	2	3
嫌いな人、苦手な人とも、うまく付き合う努力をしている	1	2	3
考えていることが伝わらないときは、相手が理解するまで伝える努力をする	1	2	3
分からないことは積極的に自分で調べたり、人に聞いたりする。	1	2	3
将来、人の役に立つ仕事をしたいと思う	1	2	3
将来、仕事で人に尊敬されたいと思う	1	2	3
将来、とにかくたくさんお金を稼ぎたい	1	2	3

問 15. あなたが 15 歳の頃のあなたの家庭の暮らし向きは、当時の平均的な家庭と比べて、
どうでしたか。(○はひとつ)

1. かなり良かった	3. ほぼ平均	5. かなり悪かった
2. やや良かった	4. やや悪かった	6. わからない

問 16. 中学 3 年生の頃、あなたの成績はどれくらいでしたか。(○はひとつ)

1. 上のほう	3. まんなかぐらい	5. 下のほう
2. やや上のほう	4. やや下のほう	

問 17. あなたが通っている高校又は通っていた高校では、おおむねどのくらいの割合の人が
大学・短大に進学しますか。(○はひとつ)

1. ほとんど進学しない	5. ほぼ全員進学する
2. 進学する人は少ない (1 割から 3 割)	6. 高校に通わなかった
3. 半分くらい進学する	7. わからない
4. 進学する人が多い (7 割から 9 割)	

質問は以上でおわりです。ご協力ありがとうございました。

参考2：調査票（社会人編）

問1. 性別

（○はひとつ）

2. 男性	2. 女性
-------	-------

問2. 年齢（2008年10月現在）

--

歳

問3. 就業状況

問3-1. 現在の就業形態

（○はひとつ）

1. 正社員（管理職） 2. 正社員（一般） 3. パート・契約社員・アルバイトなど 4. 派遣社員	} <u>問3-2へ</u>	5. 自営業・内職 6. 専業主婦（夫） 7. その他	} <u>問4へ</u>
---	----------------	-----------------------------------	--------------

問3-2. 現在の勤め先での勤続年数

（○はひとつ）

1. 1ヶ月未満	4. 6ヶ月～1年未満	7. 5年～10年未満
2. 1ヶ月～3ヶ月未満	5. 1年～3年未満	8. 10年～20年未満
3. 3ヶ月～6ヶ月未満	6. 3年～5年未満	9. 20年以上

問3-3. 現在の勤め先の業種

（○はひとつ）

1. 農林漁業、鉱業、採石業、砂利採取業 2. 建設業 3. 製造業 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 5. 情報通信業 6. 運輸業、郵便業 7. 卸売業、小売業 8. 金融業、保険業	9. 不動産業、物品賃貸業 10. 学術研究、専門・技術サービス業 11. 宿泊業、飲食サービス業 12. 生活関連サービス業、娯楽業 13. 教育、学習支援業 14. 医療、福祉 15. その他のサービス業(10～14以外) 16. 公務員 17. その他 ()
--	---

問3-4. 現在の職種

（○はひとつ）

1. 受付、経理、一般事務などの事務職 2. 販売、外交、セールスなどの販売職 3. 大工・左官、建具師などの職人的仕事 4. 土木工事などの現場作業 5. 自動車整備・組立作業・機械のオペレーターなどの技能職 6. SE・プログラマーなどの情報関係の技術職 7. 設計や工程管理などを行う技術職	8. 理・美容師、調理師などのサービス職 9. ウェイター・ウェイトレス、ホテルマンなどのサービス職 10. 介護や看護など福祉・医療関係の仕事 11. 運輸関係の仕事（トラック運転手、配達員など） 12. 保安関係の仕事（守衛や警備、消防、警察、自衛官など） 13. その他 ()
--	---

問3-5. 現在の勤め先の企業規模

(○はひとつ)

1. 9人以下	3. 100人～999人	5. 分からない
2. 10人～99人	4. 1000人以上	

問3-6. 今の仕事を1年間続けた場合の賃金年収はどのくらいですか。(税・社会保険料込、残業代込)

(○はひとつ)

1. 100万円未満	5. 400～500万円未満	9. 800～900万円未満
2. 100～200万円未満	6. 500～600万円未満	10. 900～1000万円未満
3. 200～300万円未満	7. 600～700万円未満	11. 1000万円以上
4. 300～400万円未満	8. 700～800万円未満	

問3-7. 労働組合の状況などについておたずねします。

(1) 勤め先に労働組合はありますか。

(○はひとつ)

1. 労働組合はある
2. 労働組合はない
3. 労働組合があるかどうか分からない

(2) あなたは労働組合に入っていますか。

(○はひとつ)

1. 勤め先にある労働組合に加入している
2. 勤め先以外の労働組合に加入している
3. 現在は加入していないが過去に加入していた
4. 加入したことがない

問3-8. 先週1週間で、実際に何時間働きましたか。

1週間でおよそ

. 時間

問3-9. 昨年度1年間に、あなたは年次有給休暇を取りましたか。また、取った場合は、何日でしたか。

(○はひとつ)

1. 取った	⇒	<input type="text"/> . <input type="text"/> 日
2. 取らなかった		
3. 年次有給休暇はない		

問3-10. あなたの勤め先に就業規則はありますか。

(○はひとつ)

1. 就業規則はある
2. 就業規則はない
3. あるかどうか分からない

問3-10-1. 【問3-10で「就業規則はある」とお答えした方におたずねします】

就業規則はどこにありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 文書で配布され、自分で持っている
2. 職場の見やすい場所に掲示されている
3. 職場のいつでも見ることができる場所に備え付けられている
4. その他 ()
5. どこにあるか分からない

【すべての方におたずねします】

問4. 婚姻状況をお答えください。 (○はひとつ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 結婚している | 2. 結婚していない |
|-----------|------------|

問5. 6歳以下のお子さんがいらっしゃいますか。 (○はひとつ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問6. 最終学歴（大学や短大等を卒業した後に専修学校に入学・卒業した場合は、大学や短大等を選んでください。） (○はひとつ)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 中学校 | 7. 短期大学・高等専門学校 |
| 2. 高等学校（普通科） | 8. 大学 |
| 3. 高等学校（商業系） | 9. 大学院 |
| 4. 高等学校（工業系） | |
| 5. 高等学校（農業・家庭・家政・その他） | |
| 6. 専修学校 | |

問7. あなたは、これまでに転職したことがありますか。（学生時代のアルバイトは含まないでください。） (○はひとつ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問8. 次の用語のうち、内容を知っているものに○をつけてください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. 団結権 | 10. 労災保険 |
| 2. 最低賃金 | 11. 雇用保険 |
| 3. 残業割増 | 12. 教育訓練給付金 |
| 4. 年次有給休暇（年休） | 13. 派遣労働者 |
| 5. 育児休業 | 14. ハローワーク（公共職業安定所） |
| 6. 介護休業 | 15. 労働基準監督署 |
| 7. 未払い賃金の請求権 | 16. 職業訓練校 |
| 8. 男女雇用機会均等法 | 17. 意味のわかるものはひとつもない |
| 9. 就業規則 | |

問9. あなたは、以下の下線部の記述について、法律違反と思われるものがありますか。いずれかに○をつけてください。(それぞれ○はひとつずつ)

事 例	法律違反と思われる	法律違反ではない	わからない
Aさんは、就職した会社に労働組合がなかったので、同じ職場の人を誘って、労働組合を作ったところ、 <u>会社はAさんに対して労働組合を解散するように言った。</u>	1	2	3
Bさんは、スーパーで働いているが、 <u>パートなので、時給が国で決められた最低賃金より低い。</u>	1	2	3
Cさんは工場で時給 1,000 円で働いている。 <u>週に 40 時間働いても 50 時間働いても時給は同じ1,000 円が支給される。</u>	1	2	3
Dさんは、今年 4 月に採用された 1 年目の新入社員で、これまで欠勤はしていない。 <u>Dさんは、10 月に友人と旅行に行くため、会社に 3 日間の年次有給休暇を申請した。</u>	1	2	3
Eさんは、近々出産の予定である。そこで、育児休業を取得しようと会社に申し出たら、 <u>会社から「うちには育児休業制度はないからとれない」と言われた。</u>	1	2	3
Fさんの勤めていた会社が倒産した。 <u>Fさんは、その会社に、まだ受け取っていない先月分の給与を支払うよう申し出た。</u>	1	2	3
Gさんは女性で、同僚のHさん（男性）と同じ仕事をしているが、 <u>会社はGさんに対して「Gさんは女性だからHさんよりも給料を低くしている」と言った。</u>	1	2	3
Iさんは、会社から「仕事がないので休んでください。」と言われた。 <u>Iさんは、会社に対して、休業期間中の手当を請求した。</u>	1	2	3
Jさんは、建設現場で仕事に怪我をした。 <u>会社から「治療費は、労災保険ではなく、健康保険を利用して欲しい」と言われた。</u>	1	2	3

問 10. あなたは、現在又はこれまでに、次のような経験がありますか（アルバイト経験も含む）。
(あてはまるものすべてに○)

1. 実際の労働条件が、募集や面接等の際に提示された労働条件と違う
2. 労働条件を書面で提示されたことがない
3. 就業規則がいつでも確認できるようになっていない
4. 賃金が一方的に引き下げられた
5. 賃金が毎月決まった日に支払われない
6. 残業代が支払われなかった
7. 残業代が割増賃金ではなかった
8. 残業時間を過少申告させられた
9. 妊娠したことを理由に、退職を迫られた
10. 年次有給休暇の取得を申請したが認められなかった
11. 1日に6時間を超えて働いても休憩時間がもらえない
12. 労働災害を隠された
13. 更新されると思っていた有期労働契約が更新されなかった
14. 違約金や損害賠償額を定めた労働契約を結んだ（途中で辞めたら、遅刻したら、罰金〇万円など）
15. ミスをしたら賃金から天引きで賠償させられた
16. セクシュアルハラスメント（性的ないやがらせ）を受けた
17. 上司・同僚によるいやがらせを受けた
18. その他（）
19. 上記のような経験はしていない

問 10-1. 【問 10 で 1～18 に 1 つ以上 ○ をつけた方におたずねします】

あなたは、そのような経験をしたときに次に挙げるような行動をとりましたか。これまでにとった行動すべてに○をつけてください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|-------------------------------------|
| 1. 上司に相談した | 9. 家族（親以外）・親類に相談した |
| 2. 自分で会社に掛け合った | 10. 学校の先生に相談した |
| 3. 職場の先輩社員・同僚に相談した | 11. 友人に相談した |
| 4. 労働組合に相談した | 12. インターネットで調べた |
| 5. 労働基準監督署に相談・申告した | 13. 本や雑誌で調べた |
| 6. 都道府県労働局・地方自治体の相談窓口を利用した | 14. 転職した・辞めた |
| 7. 弁護士に相談した | 15. 何もなかった ⇒ <u>問 10-3 へ</u> |
| 8. 親に相談した | 16. その他（ <input type="checkbox"/> ） |

問 10-2. 行動を起こした結果、あなたの経験した問題が解決したことがありますか。

(○はひとつ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. ほとんど解決した | 3. 解決したことの方が少ない |
| 2. 解決したことの方が多し | 4. ほとんど解決しなかった |

問 10-3. 【問 10-1 で「15. 何もしなかった」とお答えした方におたずねします。】
それはなぜですか。 (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 対処するのが面倒だったから | 4. どうしたらよいか分からなかったから |
| 2. 会社の反応が怖かったから | 5. どうせ何も変わらないから |
| 3. 人間関係が悪くなりそうだから | 6. その他 () |

問 11. あなたが 15 歳の頃のあなたの家庭の暮らし向きは、当時の平均的な家庭と比べて、
どうでしたか。 (○はひとつ)

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| 7. かなり良かった | 9. ほぼ平均 | 11. かなり悪かった |
| 8. やや良かった | 10. やや悪かった | 12. わからない |

問 12. 中学 3 年生の頃、あなたの成績はどれくらいでしたか。 (○はひとつ)

- | | | |
|-----------|------------|----------|
| 6. 上のほう | 8. まんなかぐらい | 10. 下のほう |
| 7. やや上のほう | 9. やや下のほう | |

【最後に、現在お勤めの方にのみうかがいます (問 3-1 で「1~5」とお答えの方)】

問 13. あなたは、現在の勤め先の会社での賃金、職場環境などについて労働条件が低下する
ような不安や失業する不安などを感じていますか。 (それぞれ○はひとつずつ)

(1) 賃金や労働時間など、労働条件についての不安

- | | |
|------------|-------------|
| 1. かなり感じる | 4. ほとんど感じない |
| 2. やや感じる | 5. わからない |
| 3. あまり感じない | |

(2) 失業する不安

- | | |
|------------|-------------|
| 1. かなり感じる | 4. ほとんど感じない |
| 2. やや感じる | 5. わからない |
| 3. あまり感じない | |

(3) 仮に、失業した場合、現在と同じ程度の年収や福利厚生が提供される仕事を見つ
けられるかどうかの不安

- | | |
|------------|-------------|
| 1. かなり感じる | 4. ほとんど感じない |
| 2. やや感じる | 5. わからない |
| 3. あまり感じない | |

問 14. 現在の勤め先の会社で、次のようなことが今起こっていますか、あるいは今後起こり
そうと感じていますか。 (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 賃金が引き下げられる | 8. 仕事のノルマがきつくなる |
| 2. 労働時間が長くなる | 9. 配置転換 |
| 3. 残業が増える | 10. 降格される |
| 4. 福利厚生が低下する | 11. 職場の人間関係が悪くなる |
| 5. 従来職場や職務がなくなる | 12. その他 () |
| 6. 人員削減が実施される | 13. 特にない |
| 7. 職務の内容・仕方が変わる | |

質問は以上でおわりです。ご協力ありがとうございました。